

アルシャイン

取付説明書 – L型・M型・H型・MW型・HW型・PG型R –

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 柱の施工では、「アルシャイン 柱セット」に同梱の取付説明書（D382）を一緒にお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>


注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け固定してください。
- 取付説明書の順番通りに組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

伸縮門扉取付位置は水平を保ち、水勾配をつけないようにしてください。

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によっては（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）十分考慮してください。
- 基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ずお守りください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭取ってください。

■梱包明細表

【1】 本体

名 称	略 図	員 数							
		L型(H:12)	M型(H:10)	M型(H:12)、H型(H:12)	M型(H:14)、H型(H:14)	MW型(H:12)	HW型(H:12)	MW型(H:14)、HW型(H:14)	PG型R(H:12)
本体		1	1	1	1	1	1	1	1
連結本体		1	1	1	1	1	1	1	1
落とし棒ホルダー		2	4	6	8	10	12		
落とし棒ホルダーキャップ		2	4	6	8	10	12		
落とし棒		1	2	3	4	5	6		
孔隠しシール		1	1	1	1	1	2		
落とし棒受けB		3	4	5	6	7	8		
落とし棒受けA		3	4	5	6	7	8		
【1-1】 M4×12 D8トラス小ネジ (ゆるみ止め付)		4	8	12	16	20	24		
【1-2】 M4×6ナベセムスネジ		3	6	9	12	15	18		

【2】 錠セット

名称	略図	員数	
		片開き	両開き
鎌錠ケース		1	1
鎌錠カバー		1	1
錠受け金具1 (片開き用)		1	-
錠受けカバー1 (片開き用)		1	-
錠受け金具2 (両開き用)		-	1
錠受けカバー2 (両開き用)		-	1
ハンドル掛け (外側)		1	1
ハンドル掛け (内側)		1	1
ハンドル受け (外側)		-	1
ハンドル受け (内側)		-	1
つまみ (シャフト付)		1	1
つまみ (シャフトなし)		1	1
シリンダー角軸		1	1
樹脂カラー		2	2
シャフトカバー		2	2
パイプ		-	2
回転止め		1	2

【2】 錠セット (つづき)

名称	略図	員数	
		片開き	両開き
回転止め受け		1	2
ヒンジ		2	4
ヒンジ裏板		4	8
鍵		3	3
パイプガイド		-	2
【2-1】 M5×12トラスネジバネ座金付		4	4
【2-2】 M4×8特サラネジ		2	4
【2-3】 M4×25サラネジ		2	4
【2-4】 M4×8ナベタッピンネジ		1	1
【2-5】 M5×16トラスネジバネ座金付		10	20
取付説明書 D383	-	1	1
取扱説明書 UDO75	-	1	1

【3】 片開親子連結部材

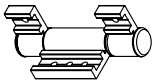

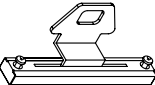


名称	略図	員数
片開親子連結部材		2
【3-1】 φ4×10トラスタッピンネジ3種		6
【3-2】 φ4×16ドリルネジ		6

【4】 両開用角地部品

名称	略図	員数
両開用角地部品		1
角地用ヒンジ		2
ヒンジ裏板		4
回転止め		1
回転止め受け		1
【4-1】 M5×16トラスネジバネ座金付		10









■梱包明細表(つづき)

【5】片開用角地部品

名称	略図	員数
角地用ヒンジ		2
ヒンジ裏板		4
回転止め		1
回転止め受け		1
【5-1】 M5×16トラスネジバネ座金付		10

※回転止めにはM4×10のナベ小ネジが組付いています。

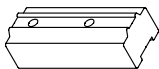

【6】サイドレール (サイドレール仕様)

名称	略図	員数		
		L=1,525	L=2,025	L=3,025
サイドレールA (15)		1	-	-
サイドレールB (15)		1	-	-
サイドレールA (20)		-	1	-
サイドレールB (20)		-	1	-
サイドレールA (30)		-	-	1
サイドレールB (30)		-	-	1
【6-1】 φ4.8×32サラ木ネジ		8	10	14
【6-2】 S6 フィッシャープラグ		8	10	14

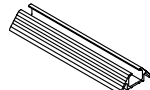
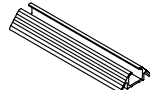
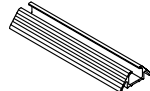


【7】キャスター固定金具 (サイドレール仕様)

名称	略図	員数
キャスター固定金具		2
【7-1】 M4×20ナベネジバネ座金付		2




【8】H型キャスタースペーサー (サイドレール仕様)

名称	略図	員数
キャスター取付材スペーサー		2
【8-1】 M4×35ダブルセムスネジ		4

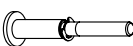


【9】センターレール

名称	略図	員数		
		L=1,525	L=2,025	L=3,025
センターレール (15)		1	-	-
センターレール (20)		-	1	-
センターレール (30)		-	-	1
【9-1】 φ5.1×38丸木ネジ		4	5	7
【9-2】 S8 フィッシャープラグ		4	5	7






【10】センターレール端部部品

名称	略図	員数
センターレール端部部品		1
【10-1】 φ5.1×38丸木ネジ		1
【10-2】 S8 フィッシャープラグ		1

【11】センターシャフト

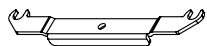
名称	略図	員数
センターシャフト		1
【11-1】 M10ナット		1
【11-2】 M10バネ座金		1

【12】PG型R センターシャフト部品

名称	略図	員数
PG用センターレールシャフト		1
PG用ローラーカラー		1
裏板		1
【12-1】 M4×10 ダブルセムスネジ		4
【12-2】 M10ナット		1

【13】センターシャフト取付部品A

オプション

名称	略図	員数
センターシャフト取付部品A		1

【14】センターシャフト取付部品B

オプション

名称	略図	員数
センターシャフト取付部品B		1

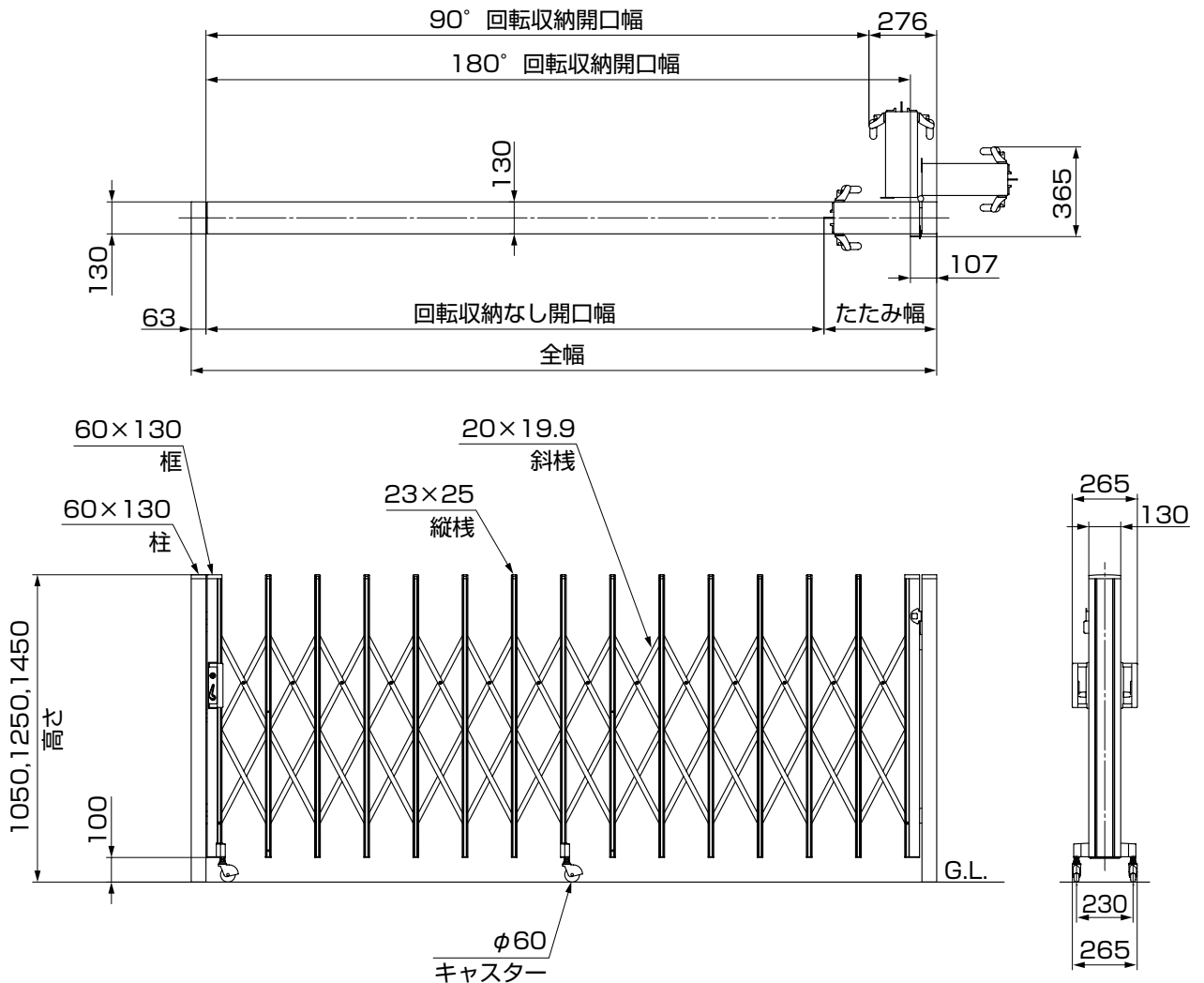
【15】 転倒防止受金具

オプション

名称	略図	員数
転倒防止受金具		1
【15-1】 φ6×30トラスタッピンネジ 1種		2
【15-2】 S8 フィッシャープラグ		2

1. 姿図および各部の名称

1-1 各部の名称 ※本図はアルシャインM型です。



ポイント

- 基礎施工寸法の柱埋込み位置は、アルシャイン柱取付説明書D382をお読みください。

2. ヒンジ、自動回転止めおよび錠の取付位置

2-1 片開きの場合

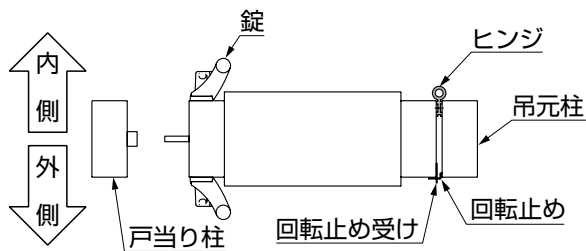


図2-1 右勝手

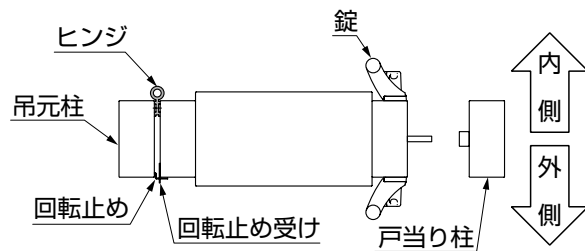


図2-2 左勝手

2-2 両開きの場合

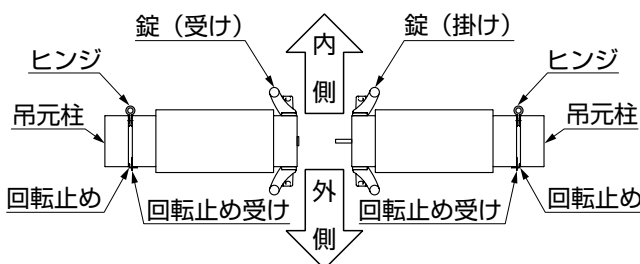


図2-3 右勝手

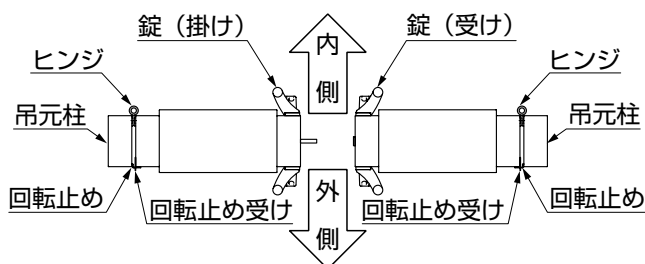


図2-4 左勝手

2-3 片開き角地の場合

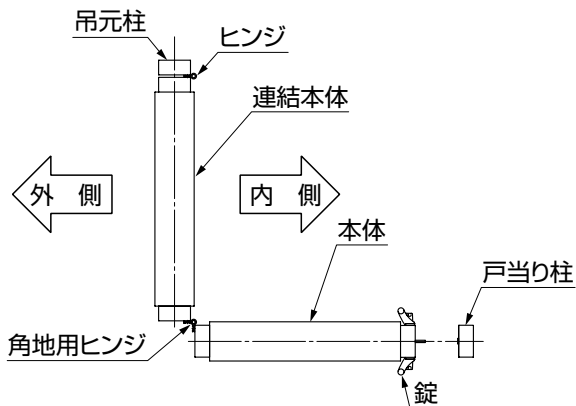


図2-5 角地の場合

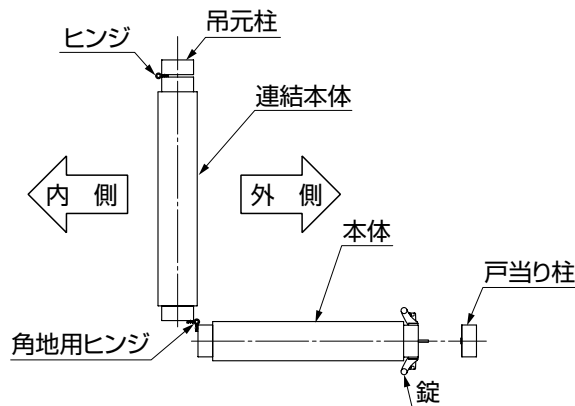


図2-6 逆角地の場合

2-4 両開き角地の場合 ※錠(掛け)は本体側に取付きます。

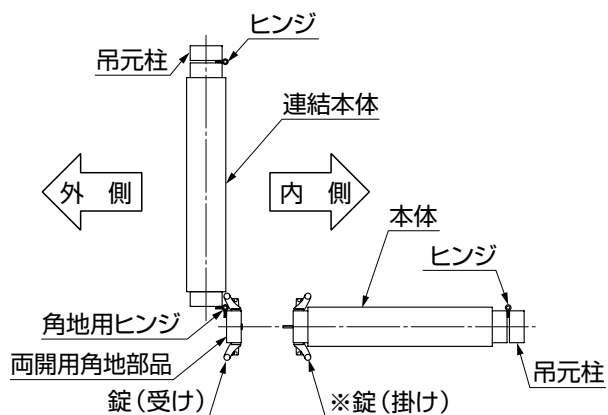


図2-7 角地の場合

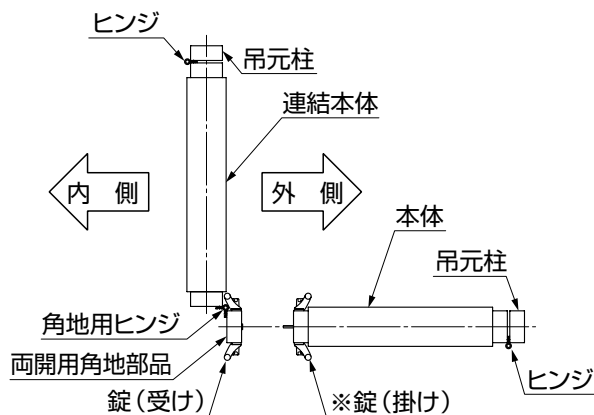
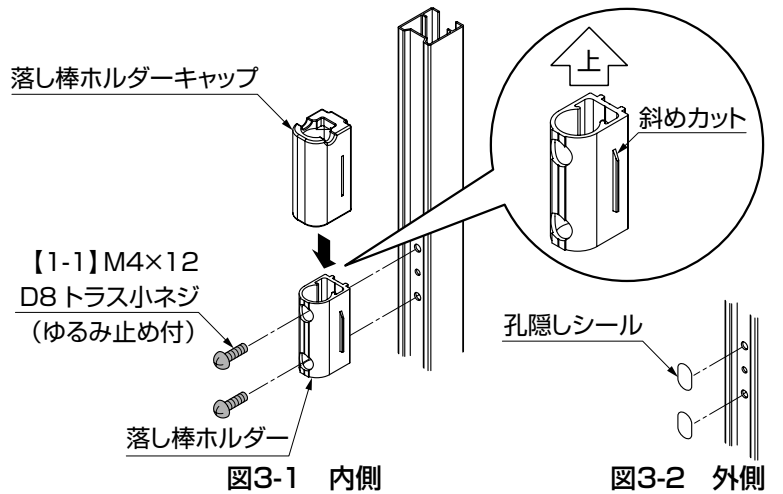


図2-8 逆角地の場合

3. 落とし棒と錠の取付け

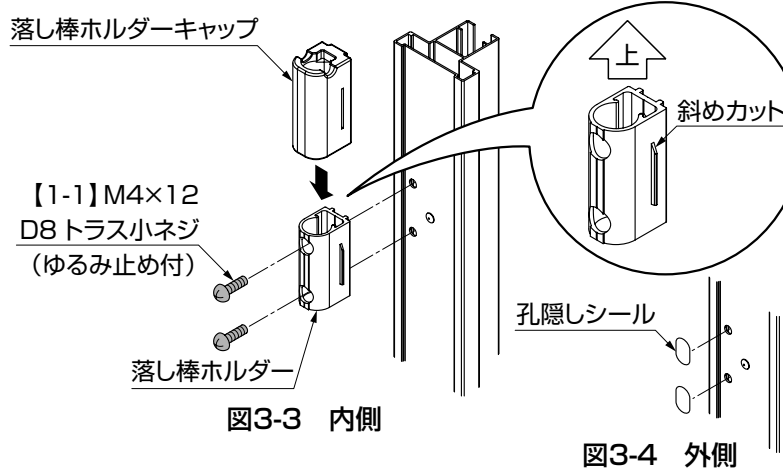
3-1 落とし棒の取付け

(1) L型・M型・MW型・PG型Rの場合



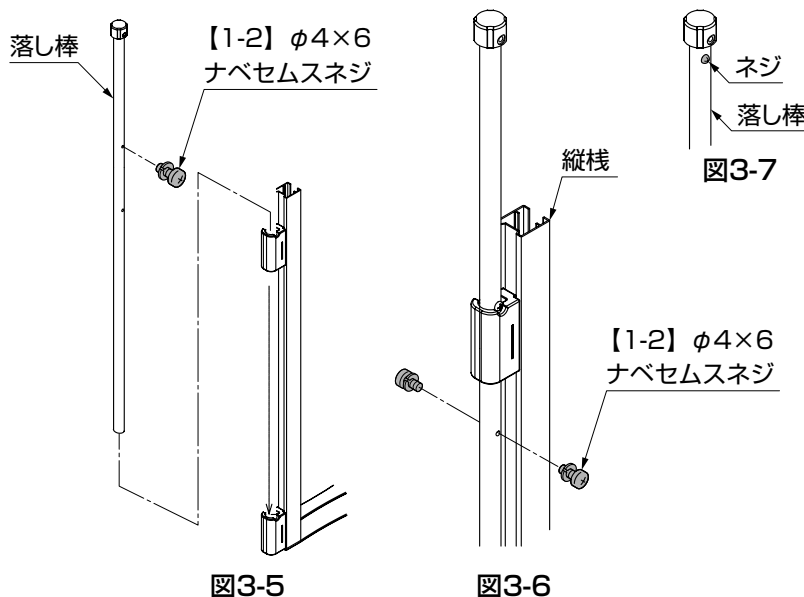
- ① 本体内側の縦棧の取付け孔加工に、落とし棒ホルダーを斜めカットを上にして、【1-1】で固定してください。(図3-1参照)
- ② 落とし棒ホルダーキャップを、上からはめ込んでください。(図3-1参照)
- ③ 外側の落とし棒取付け孔は孔隠しシールでふさいでください。(図3-2参照)

(2) H型・HW型の場合



- ① 本体内側の縦棧の取付け孔加工に、落とし棒ホルダーを斜めカットを上にして、【1-1】で固定してください。(図3-3参照)
- ② 落とし棒ホルダーキャップを、上からはめ込んでください。(図3-3参照)
- ③ 外側の落とし棒取付け孔は孔隠しシールでふさいでください。(図3-4参照)

(3) 落とし棒の組付け



- ① 落とし棒に【1-2】を組みつけてください。(図3-5参照)
- ② 落とし棒を落とし棒ホルダーに挿入した後、【1-2】を落とし棒の両サイドからネジ止めしてください。(図3-6参照)

補足

- H12の630S (MW型、HW型のみ580S以上) およびH14の510Sのサイズには、強度上の関係で、落とし棒の上部にネジが付いています。(図3-7参照)

3. (つづき)

3-2 鎌錠（掛け側）の取付け片開き・両開き

(1) 鎌錠ケースの取付け

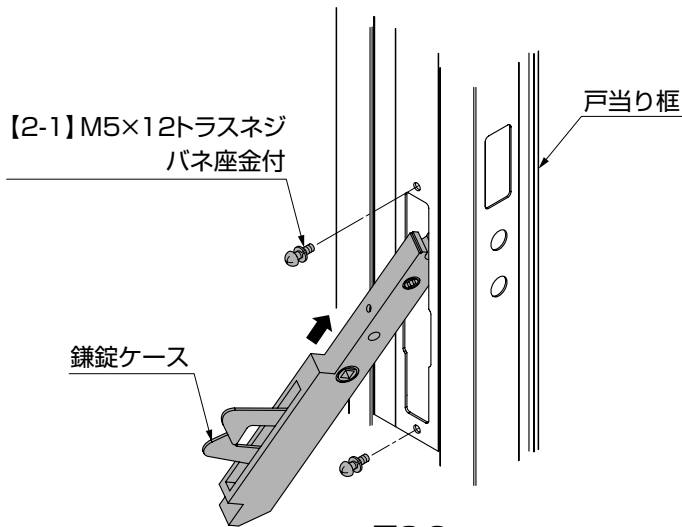


図3-8

- ① 錠掛け側の框に左図のように鎌錠ケースを差込み、矢印のように上に持ち上げ、ケース部分が框に全て入った後、鎌錠ケースを垂直に下におろし【2-1】で固定してください。（図3-8参照）

ポイント

- 鎌錠ケースの取付け前に本体の縦椋間隔を100mmくらい拡げてから鎌錠ケースを取付けてください。

(2) ハンドルの取付け

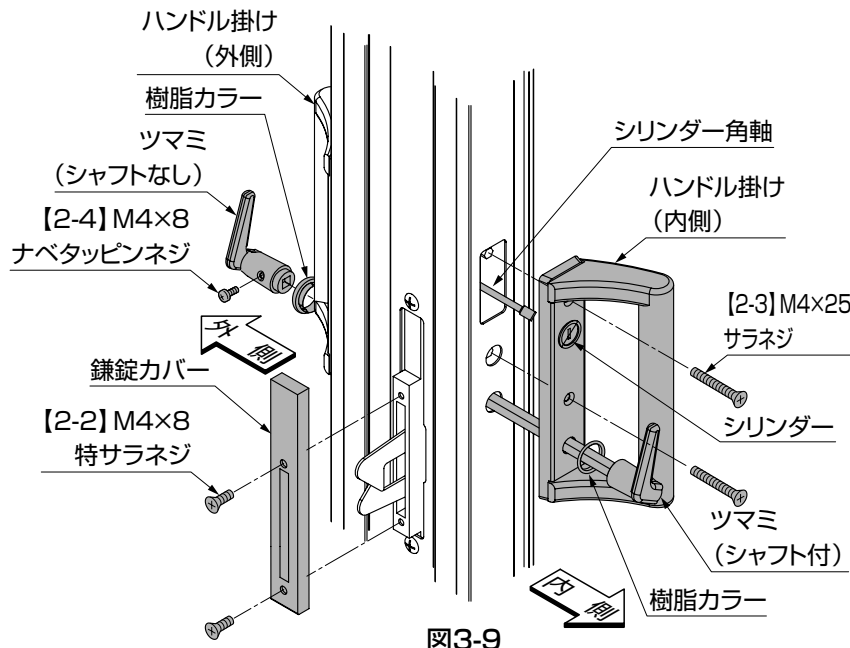


図3-9

- ① ハンドル掛け側（外側）のシャフトを伸縮門扉本体の外側より挿入してください。（図3-9参照）
- ② シリンダー角軸をハンドル掛け側（外側）のシリンダーへ挿入してください。（図3-9、図3-10参照）
- ③ ハンドル掛け側（内側）をシリンダー角軸に挿入して【2-3】で固定してください。（図3-9参照）
- ④ ツマミ（シャフト付）を挿入してください。（図3-9参照）
- ⑤ ツマミ（シャフトなし）を挿入して、【2-4】でツマミがハンドル台座に密着するように、しっかり固定してください。（図3-9参照）

注意

- ツマミの向きは安全のため必ず図3-9の向きで取付けてください。

ポイント

- ハンドルを取付ける時、シリンダーに鍵を差込んだ状態で、取付けしないでください。鍵が抜けなくなります。
- ハンドルは、出荷時には仮組みされています。【2-3】をはずしてから取付けてください。

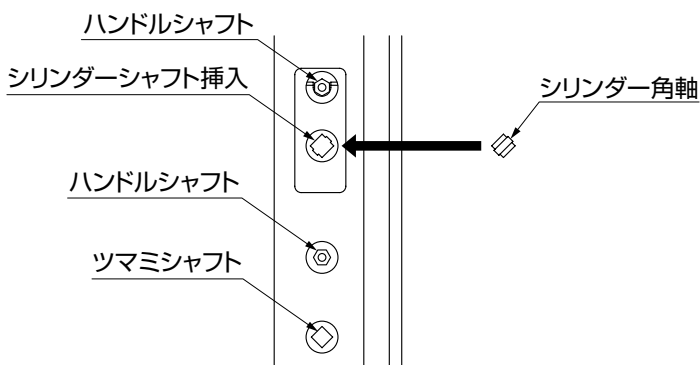


図3-10 シリンダー角軸挿入向き

(3) 両開きの時の掛け側・受け側の入替え

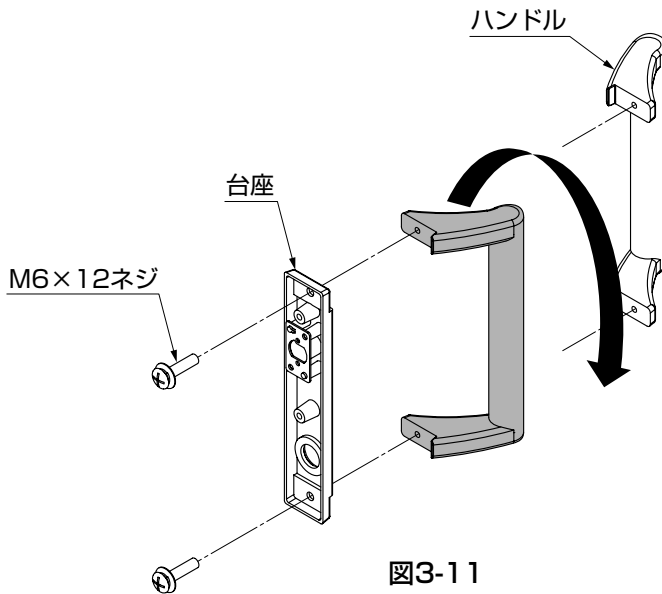


図3-11

- ①ハンドル掛け(外側)、ハンドル掛け(内側)、ハンドル受け(外側)、ハンドル受け(内側)の台座の裏からM6×12ネジを外してハンドルの向きを180°回転して、M6×12ネジで組みつけてください。

(図3-11参照)

(4) シャフトカバーの取付け

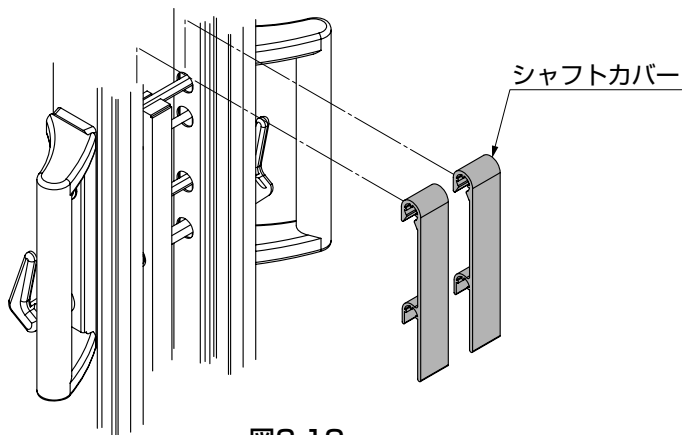


図3-12

- ①錠(掛け側)の枠の裏側に、シャフトカバーを上からカチッというまで押込んでください。(図3-12、図3-13参照)

注意

- 防犯のため、シャフトカバーは必ず取付けてください。

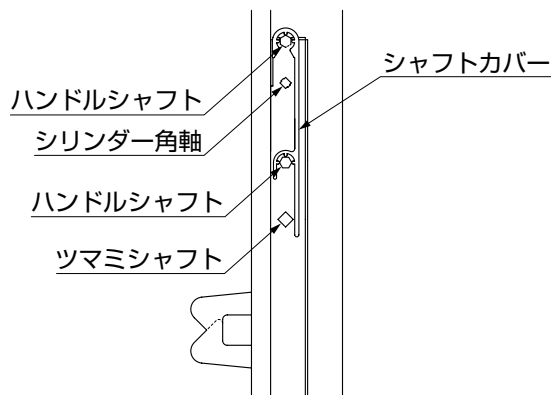


図3-13

3. (つづき)

3-3 錠受け金具の取付け

(1) 両開きの場合

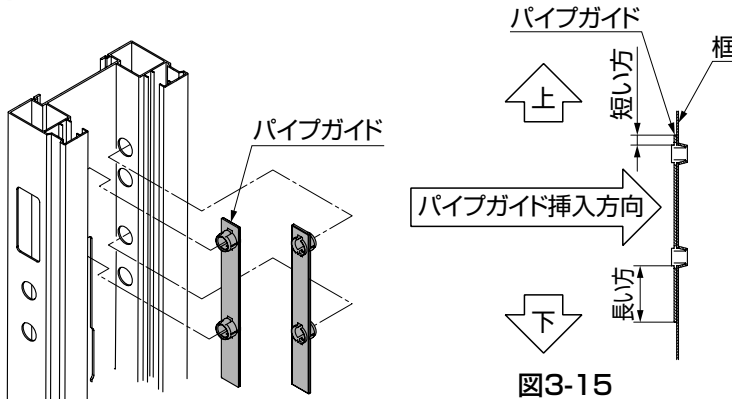


図3-14

図3-15

【2-1】M5×12トラスネジバネ座金付

錠受け金具2 (両開き用)

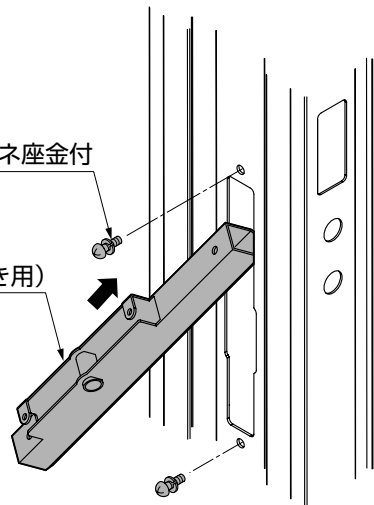
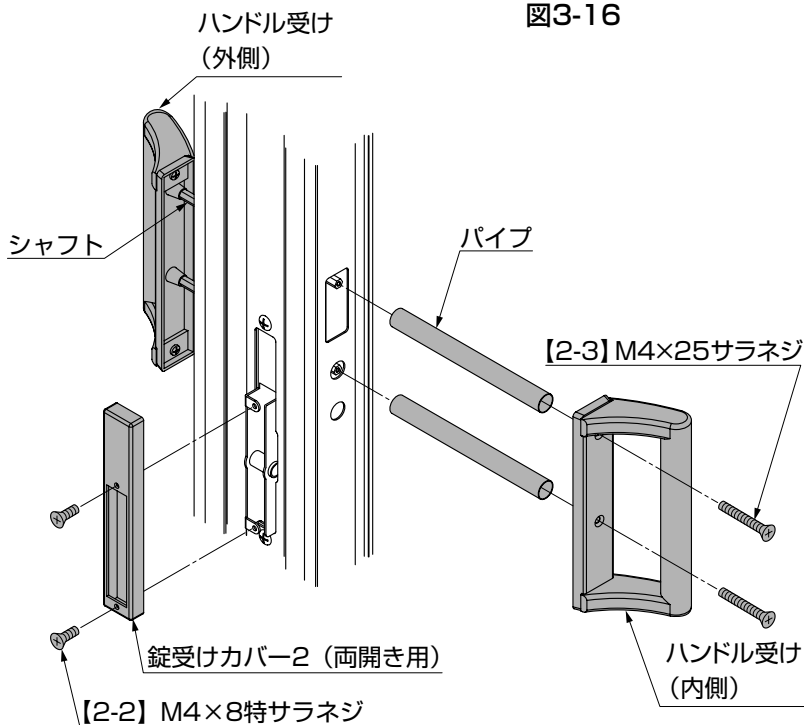


図3-16



【2-2】M4×8特サラネジ

図3-17

①パイプガイドを枠内側の丸孔に、左図のように左右2箇所にはめ込んでください。(図3-14、図3-15参照)

②錠受け側の枠に錠受け金具 (両開き用) を差込み、矢印のように上に持ち上げ、ケース部分が枠に全て入った後、錠受け金具を垂直に下におろし、【2-1】で固定してください。(図3-16参照)

ポイント

●錠受け金具 (両開き用) の取付け前に本体の縦棧の間隔を100mmくらい拡げてから錠受け金具 (両開き用) を取付けてください。

③錠受け金具2 (両開き用) に錠受けカバー2 (両開き用) を【2-2】で固定し、ハンドル受け (外側) を枠に挿入してください。(図3-17参照)

④シャフトにパイプを差込んだ後、ハンドル受け (内側) を【2-3】で固定してください。(図3-17参照)

ポイント

●ハンドル受け (外側) (内側) は梱包状態では仮組みされています。【2-3】をはずしてから取付けてください。

(2) 片開きの場合

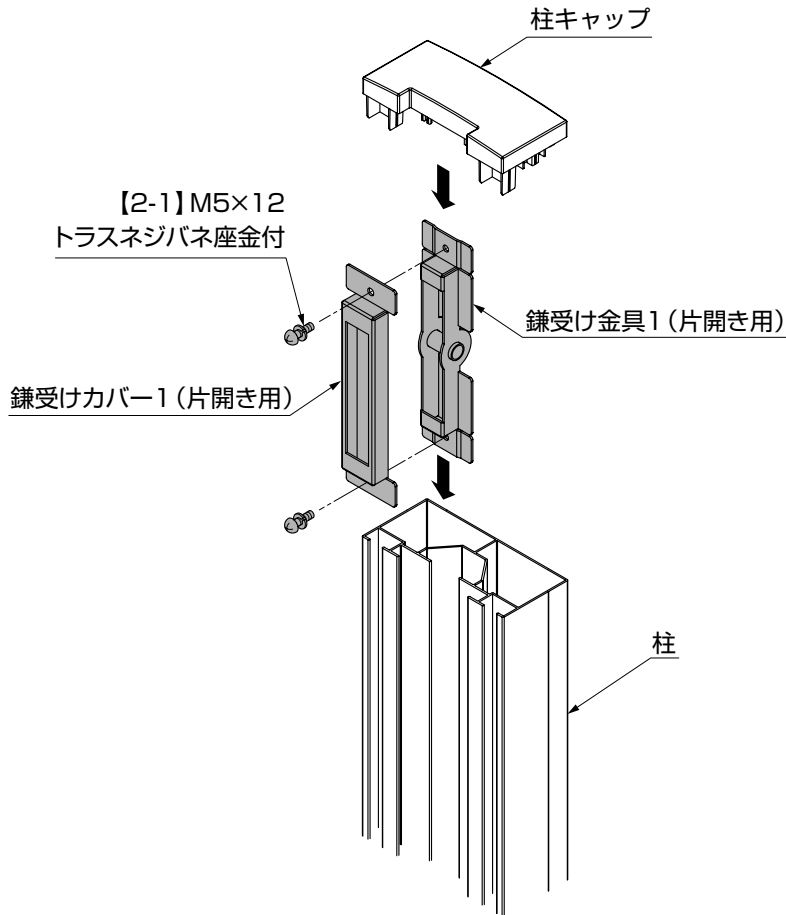


図3-18

- ① 錠受け金具（片開き用）と錠受けカバー（片開き用）をあらかじめ【2-1】で仮止めして、柱のスリット部分に上部から差込んでください。（図3-18参照）
- ② 本体鎌錠の鎌のセンターに位置を合わせながら（図3-19参照）、錠受け金具（片開き用）と錠受けカバー（片開き用）のネジをしっかりと固定してください。（図3-18参照）
- ③ キャップを挿入してください。（図3-18参照）

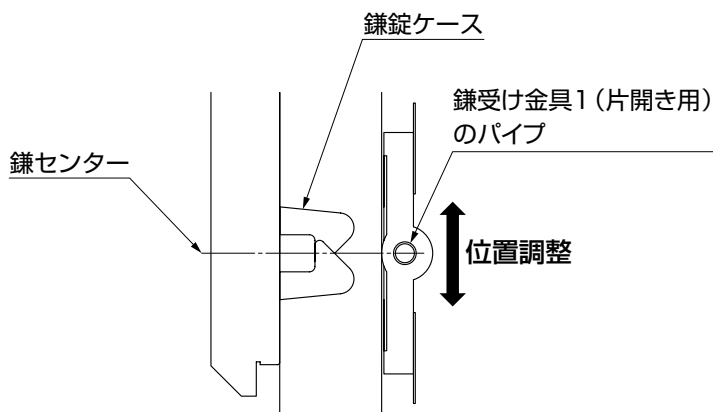


図3-19

4. 本体と柱の組付け

4-1 ヒンジと回転止めの組付け

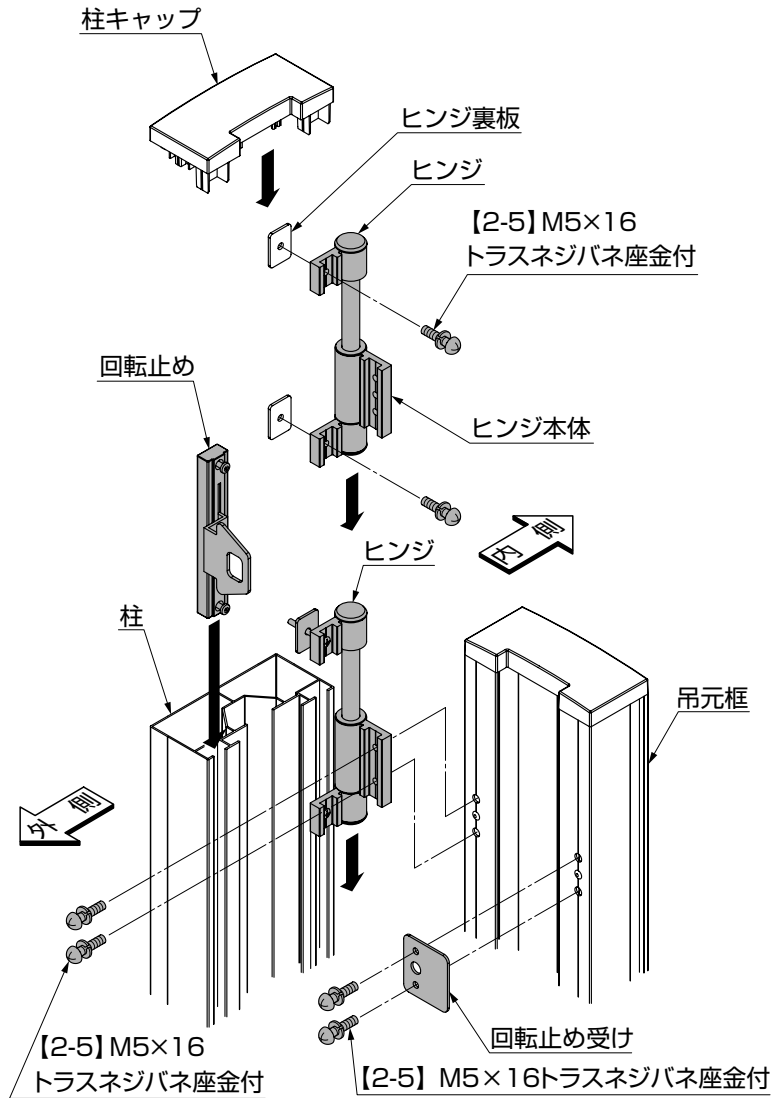


図4-1

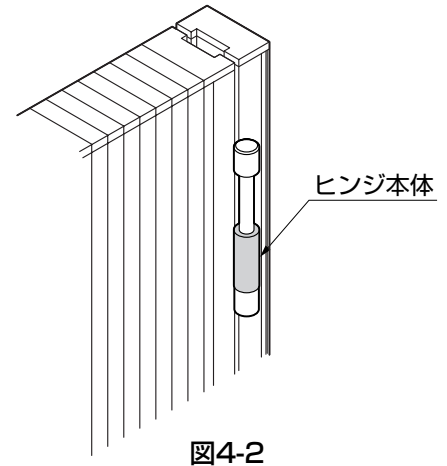


図4-2

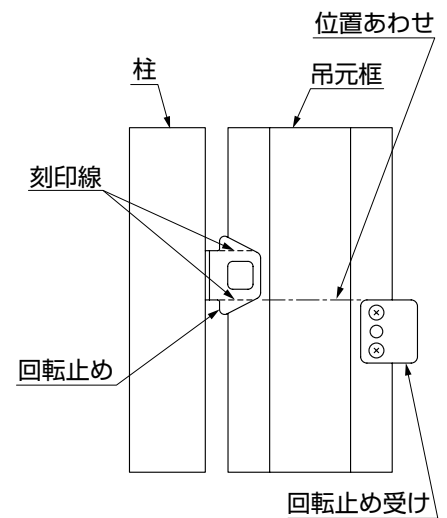


図4-3

- ①柱の内側のスリット部分にヒンジを2個挿入後、ヒンジを吊元框に固定してください。(図4-1参照)
- ②柱の上端と框の上端を合わせて柱に【2-5】で固定してください。(図4-1参照)

ポイント

- ヒンジ本体は必ず最下面にくるようにして組付けてください。(図4-2)

- ③回転止め受けを吊元框の外側に取付けてください。(図4-1参照)
- ④回転止めを柱の外側スリットに挿入してください。(図4-1参照)
- ⑤回転止めの位置を調整し、回転止め本体のネジをしっかりと固定してください。(図4-3参照)
- ⑥柱キャップを組込んでください。(図4-1参照)

ポイント

- 回転止めの固定の際、回転止めの刻印線と回転止め受けの上面を合わせてネジをしっかりと固定するようにしてください。(図4-3参照)
- 柱キャップはアルシャイン柱セットに同梱しています。

5. 片開き親子の連結

5-1 本体と連結本体の組付け

(1) 連結本体への前加工

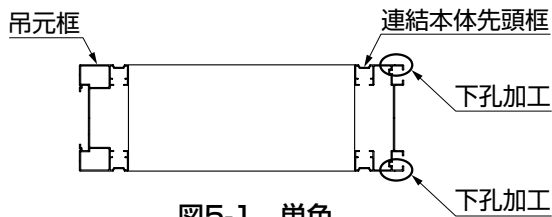


図5-1 単色

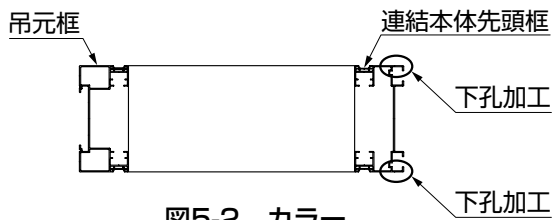


図5-2 カラー

表5-1

	A寸法	
	L・M・H・MW・HW型	PG型R
H10	335	—
H12	435	460
H14	535	560

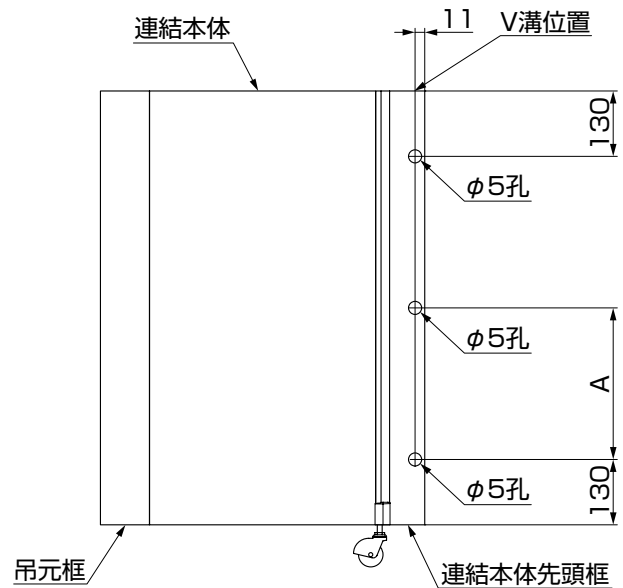


図5-3 対対象象

①連結本体側の連結本体先頭框に、下孔加工をしてください。(図5-3、表5-1参照)

補足

●孔加工位置は、V溝の上に加工作ってください。

(2) PG型R時の片開親子連結部材への前加工

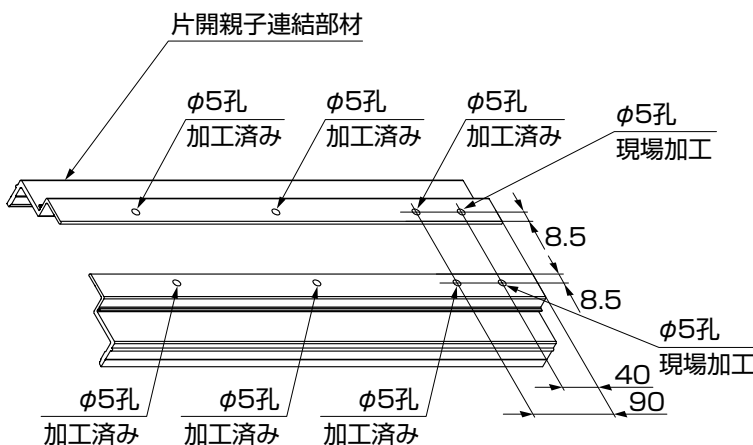


図5-4

ポイント

●PG型Rの場合のみ、片開親子連結部材への前加工をしてください。

①PG型Rの場合は、図を参照して、2本の片開親子連結部材を対称に端部から40mmの位置にφ5孔を加工してください。(図5-4参照)

補足

●PG型Rは他機種と框の長さが違うため、端部から90mmの位置にある加工済みのφ5孔は、使用しません。(図5-4参照)

ポイント

●2本の片開親子連結部材は対称に加工してください。

5. (つづき)

(3) 本体への前加工

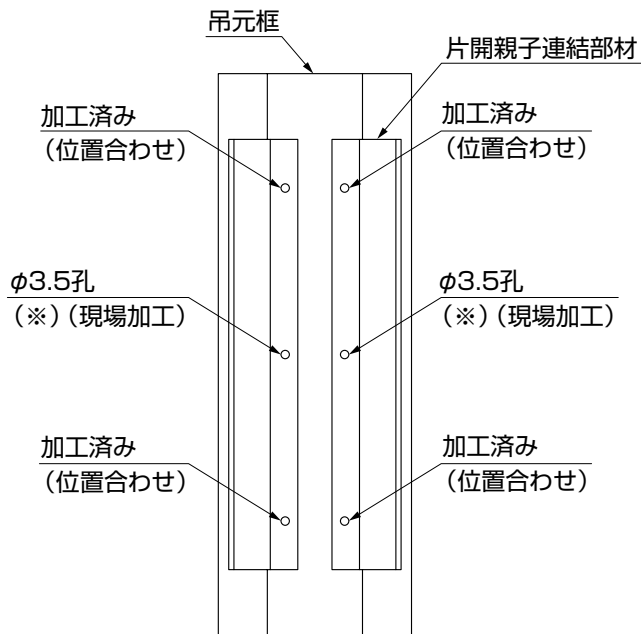


図5-5

- ① 本体の吊元框に片開親子連結部材を合わせてください。
- ② 本体の吊元框の※印位置にφ3.5孔を加工してください。(図5-5参照)

ポイント

- PG型Rの場合は、(2)で現場加工したφ5孔が下側にくるようにしてください。

(4) 片開親子連結部材の組付け

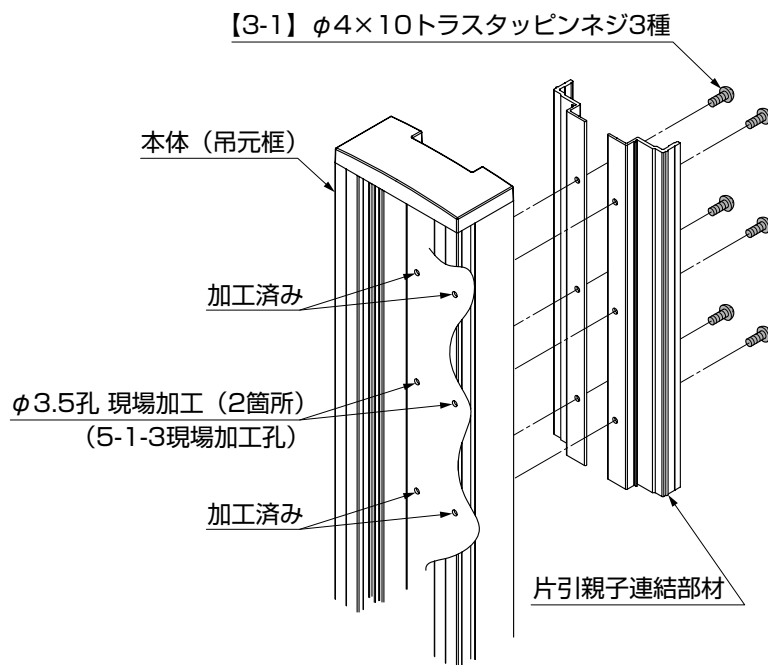


図5-6

- ① 本体の吊元框に片開親子連結部材を【3-1】で組付けてください。(図5-6参照)

(5) 本体と連結本体の連結

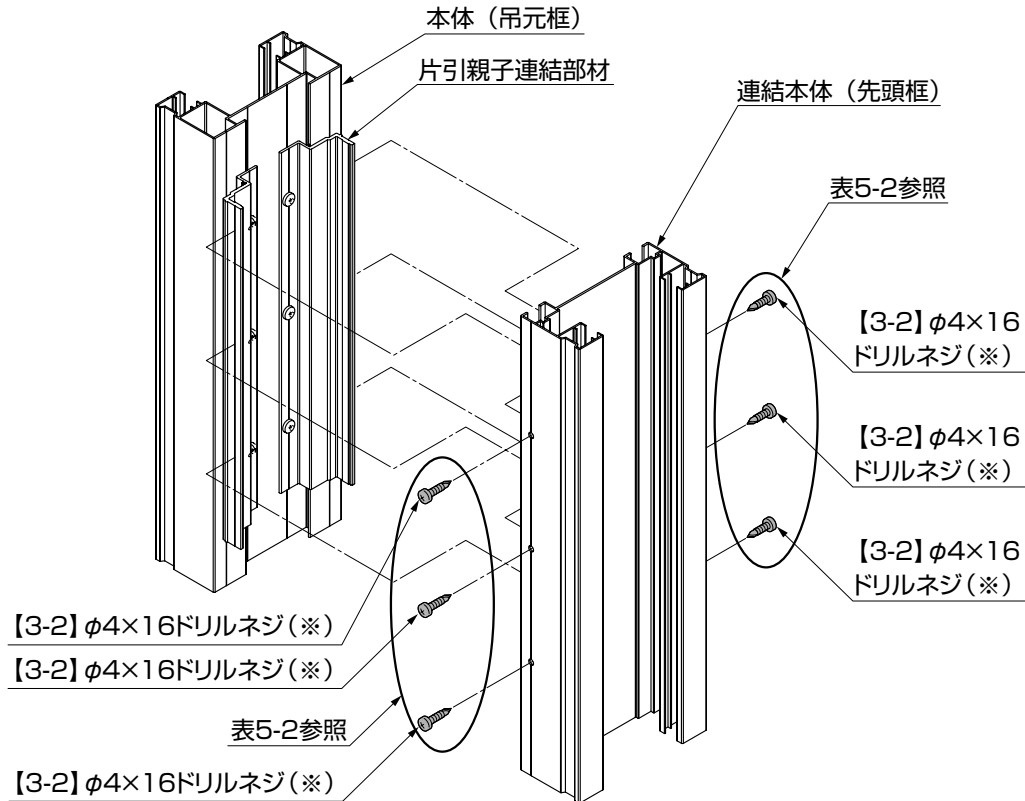


図5-7

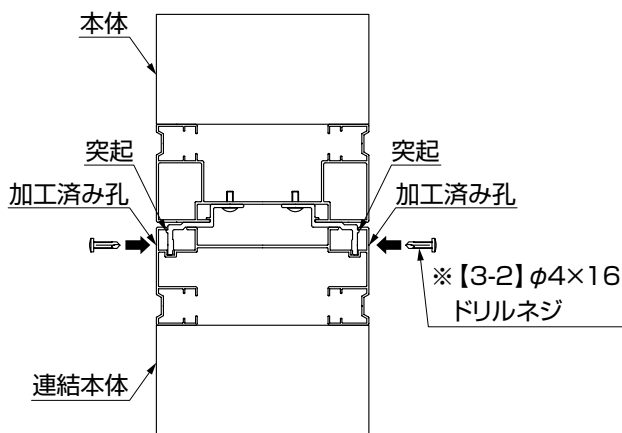


図5-8

表5-2

呼称	※印ネジの使用ネジ色	
	[3-2] φ4×16 ドリルネジ マイルドブラック	[3-2] φ4×16 ドリルネジ 生地
ブロンズ	○	—
マイルドブラック	○	—
オータムブラウン	○	—
アイボリーホワイト	—	○
シャイングレー	—	○
柿渋+シャイングレー	—	○
鉄紺+シャイングレー	—	○
イタリアンウォールナット +シャイングレー	—	○
柿渋+マイルドブラック	○	—

- ① 連結本体の先頭框に、片引親子連結部材のついた本体を、連結本体と本体の高さを合わせながら挿入してください。(図5-7参照)
- ② 本体をしっかり押さえながら【3-2】で止めしてください。(図5-7、図5-8参照)

🔑ポイント

- 片引親子連結部材のついた本体と連結本体を連結する場合には、片引親子連結部材の突起(図5-8参照)が連結本体(先頭框)に入り込むまで強く押込んでください。
- 【3-2】の配色は本体色に合わせて選択してください。(表5-2参照)

6. 角地の場合の組付け

6-1 両開用角地部品と連結本体の連結（両開き角地の場合）

(1) キャップの取外し

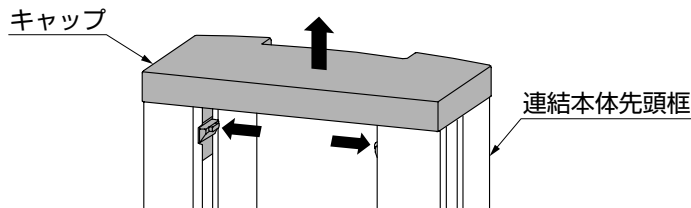


図6-1

- ① 連結本体先頭框のキャップの突起部を押して、上に引上げてはずしてください。（図6-1参照）

(2) 両開用角地部品と連結本体の組付け

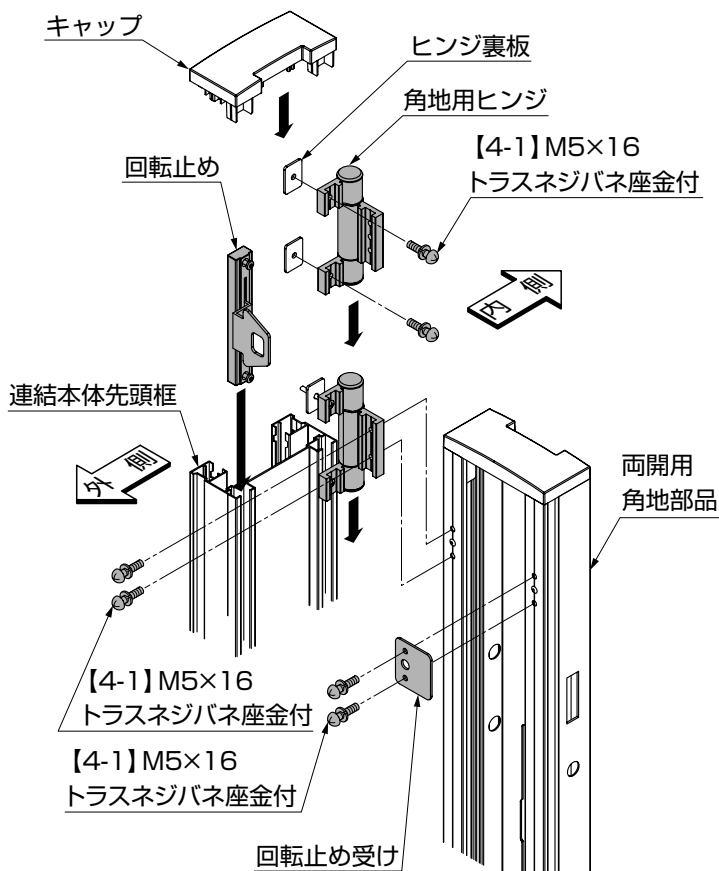


図6-2

- ① 連結本体先頭框の内側のスリット部分に角地用ヒンジを2個挿入し、両開用角地部品に固定してください。（図6-2参照）
- ② 連結本体先頭框の上端と両開用角地部品の上端を合わせ、連結本体先頭框に【4-1】で固定してください。（図6-2参照）
- ③ 回転止め受けを両開用角地部品の外側に取付けてください。（図6-2参照）
- ④ 回転止めを連結本体先頭框の外側スリットに挿入してください。
- ⑤ 回転止めの位置を調整し、回転止めのネジをしっかりと固定してください。（図6-3参照）
- ⑥ (1) で外した連結本体先頭框のキャップを取り付けてください。（図6-2参照）
- ⑦ 両開用角地部品に錠受け金具の取付けを参考に錠受け金具（両開き用）とハンドル受け（外側）、ハンドル受け（内側）を取付けてください。（「3-3錠受け金具の取付け（1）両開きの場合」参照）

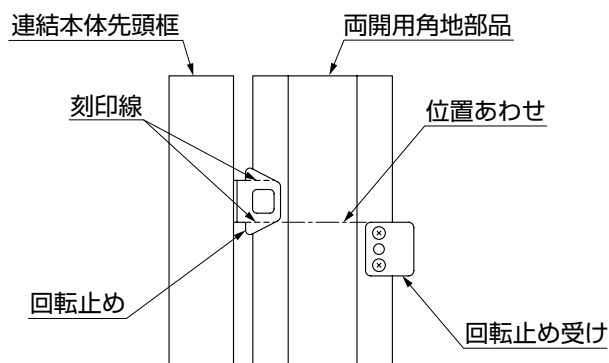


図6-3

ポイント

- 回転止めの固定の際、回転止めの刻印線と回転止め受けの上面を合わせてネジをしっかりと固定するようにしてください。（図6-3参照）

6-2 本体と連結本体の連結（片開き角地の場合）

(1) キャップの取外し

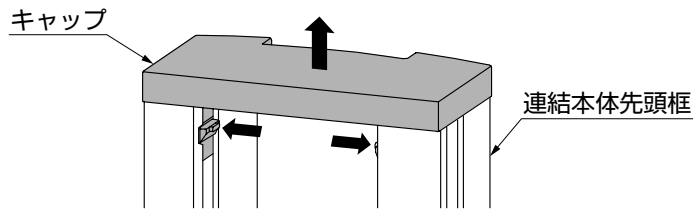


図6-4

- ① 連結本体先頭框のキャップの突起部を押して、上に引上げてはずしてください。（図6-4参照）

(2) 本体と連結本体の組付け

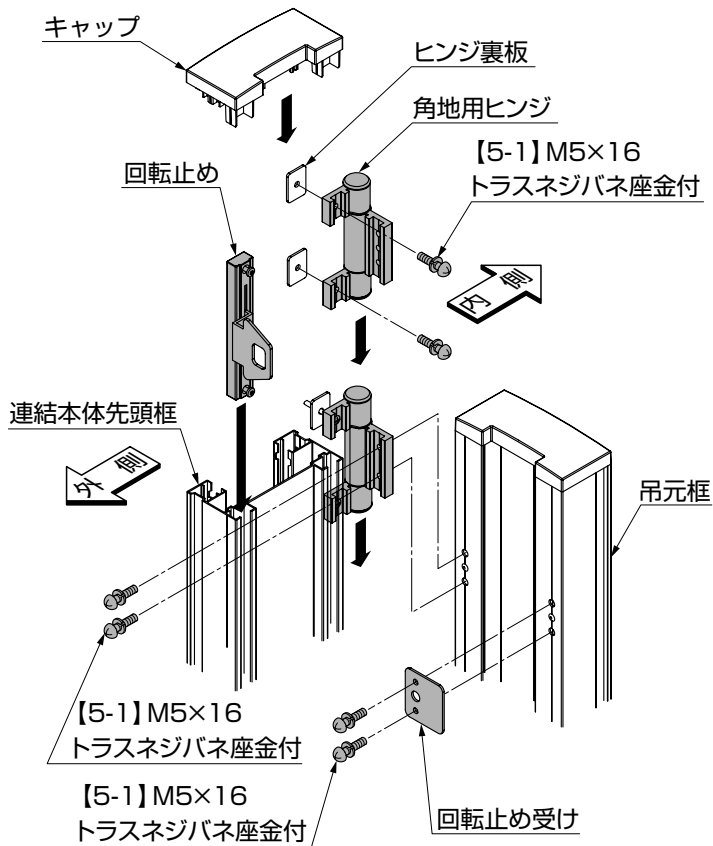


図6-5

- ① 連結本体先頭框の内側のスリット部分に角地用ヒンジを2個挿入し、吊元框に固定してください。（図6-5参照）
- ② 連結本体先頭框の上端と吊元框の上端を合わせ、連結本体先頭框に【5-1】で固定してください。（図6-5参照）
- ③ 回転止め受けを吊元框の外側に取付けてください。（図6-5参照）
- ④ 回転止めを連結本体先頭框の外側スリットに挿入してください。
- ⑤ 回転止めの位置を調整し、回転止めのネジをしっかりと固定してください。（図6-6参照）
- ⑥ (1)で外した連結本体先頭框のキャップを取り付けてください。（図6-5参照）

ポイント

- 回転止めの固定の際、回転止めの刻印線と回転止め受けの上面を合わせてネジをしっかりと固定するようにしてください。（図6-6参照）

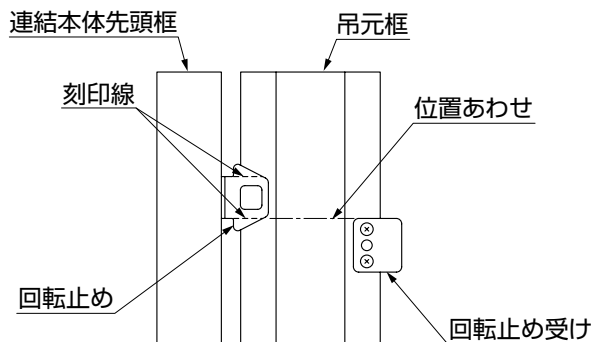


図6-6

7. 柱キャップの固定

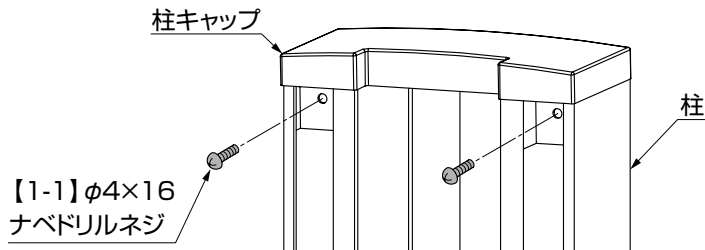


図7-1

- ①「アルシャイン 柱セット」に同梱の【1-1】にて、柱に柱キャップを固定してください。（図7-1参照）

ポイント

- 柱キャップをしっかり挿入し、上から押えながら、【1-1】で、固定してください。

8. キャスターの固定

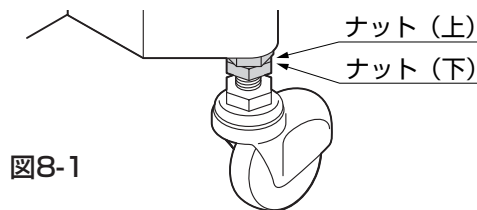


図8-1

- ①キャスターについている「ナット(上)」、「ナット(下)」を上にあげて固定してください。（図8-1参照）

補足

- キャスターの高さ調整をした時には、再度各部納まりを確認してください。

9. 落とし棒受けの施工

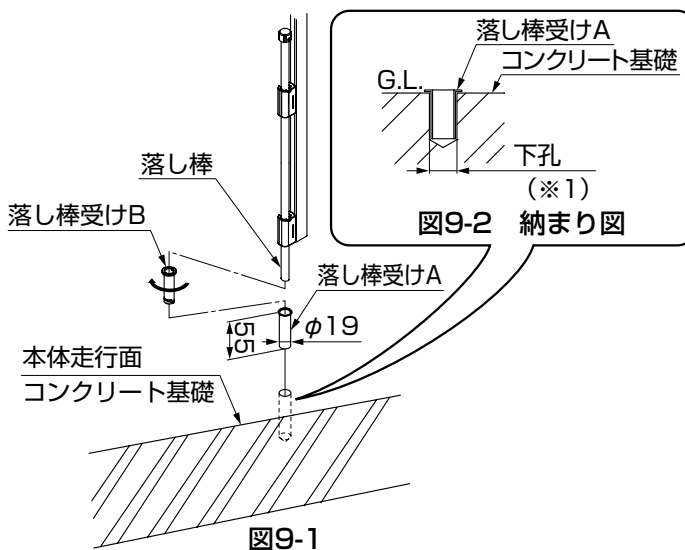


図9-1

図9-2 納まり図

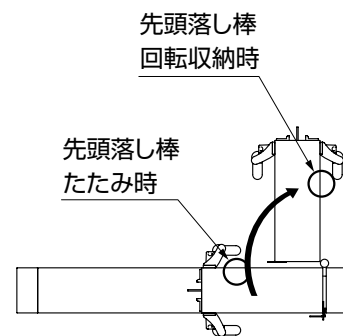


図9-3

- ①落とし棒受けAをコンクリート基礎部に確実に固定してください。（図9-1参照）
 ②落とし棒受けBを落とし棒受けAに回転しながら挿入してください。（図9-1参照）

ポイント

- 施錠状態で本体の落とし棒全ての位置に合わせて落とし棒受けの施工をしてください。
- たたみ時でも、先頭落とし棒位置に落とし棒受けの下孔を施工してください。（図9-3参照）
- 回転収納状態でも、先頭落とし棒が落せる位置に落とし棒受けの下孔を施工してください。（図9-3参照）
- 落とし棒受けAは無理に叩き込むと変形し、落とし棒受けBが入らなくなるおそれがあります。
- 片開き親子、片開き角地の場合は、落とし棒受けが2つ余ります。
- 落とし棒受けAを埋設施工する場合は、モルタル等が落とし棒受けAの内側に回込まないように、施工してください。
- 下孔をあける場合は、下孔径はφ19～φ20のコンクリートドリルで下孔を加工してください。（※1）
- 下孔が大きく、落とし棒受けAが固定されない場合は、屋外用コンクリート接着剤等で固定してください。

10. サイドレール仕様の場合

10-1 キャスターの固定

(1) キャスター固定金具の取付け

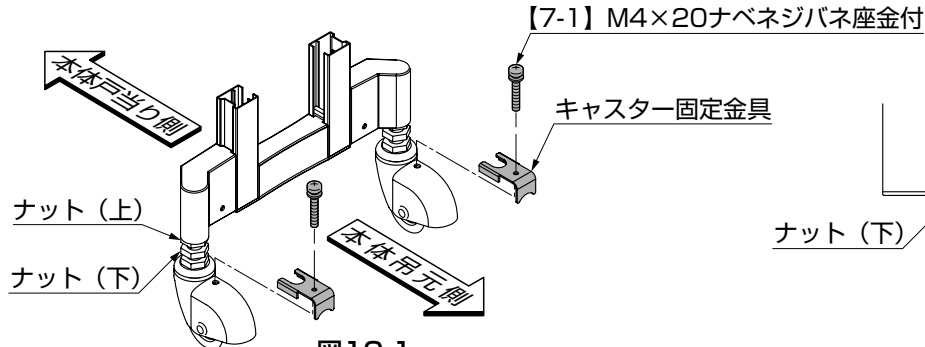


図10-1

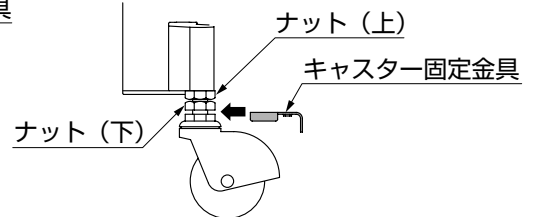


図10-2

- ①キャスターについている「ナット (下)」を上へあげてください。(図10-1参照)
- ②キャスター固定金具を「ナット (下)」の下側に挿入し、「ナット (下)」でキャスター固定金具を固定してください。(図10-2参照)
- ③【7-1】をキャスター固定金具にネジ止めし、キャスターの孔にネジが貫通するように組付けてください。(図10-1参照)
- ④「ナット (上)」を上へあげて固定してください。(図10-2参照)

ポイント

- キャスター固定金具は全てのキャスターに取付けてください。

(2) H型、HW型の場合

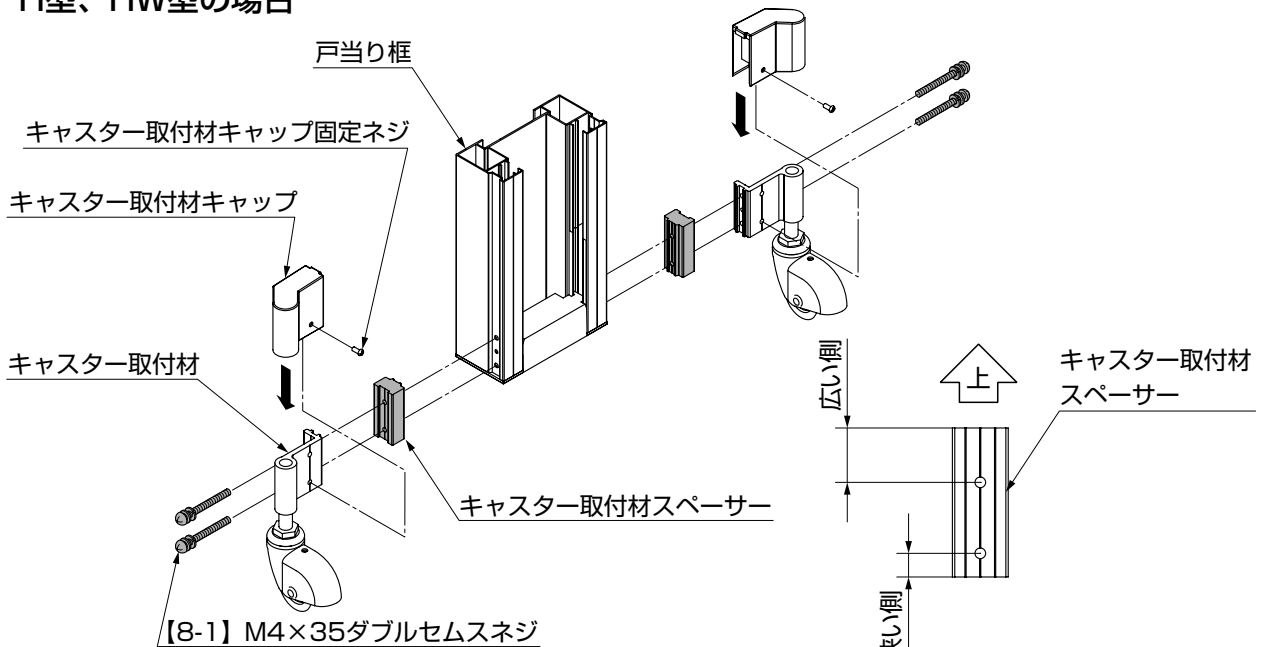


図10-3

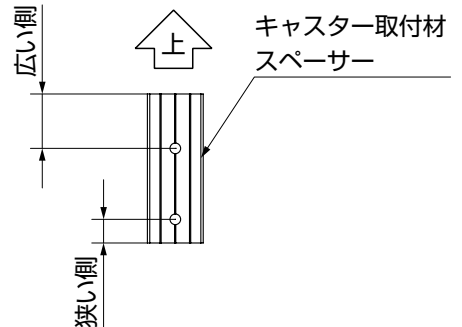


図10-4

- ①「キャスター取付材キャップ固定ネジ」を外し、「キャスター取付材キャップ」を外してください。
- ②「キャスター取付材」を外し、「キャスター取付材スペーサー」を「キャスター取付材」と「枠」の間に挿入して【8-1】でネジ止めしてください。(図10-3、図10-4参照)
- ③①で外した「キャスター取付材キャップ」を取付けて、「キャスター取付材キャップ固定ネジ」で固定してください。(図10-3参照)

ポイント

- サイドレール仕様の場合、H型、HW型の戸当り框にキャスター取付材スペーサーを取付けてください。

10. (つづき)

10-2 サイドレール施工寸法図

(1) 片開きの場合 ※本図はアルシャインH型です。

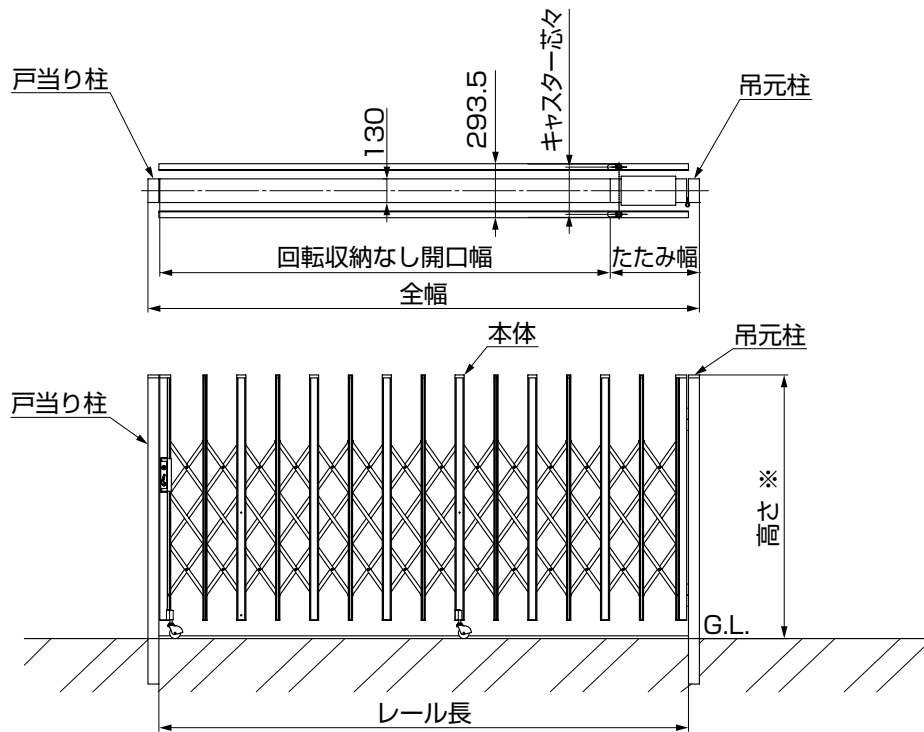


図10-5

ポイント

- サイドレール仕様の場合の柱施工高さは、アルシャイン柱取付説明書D382を参照してください。(※印)

(2) 両開き場合 ※本図はアルシャインH型です。

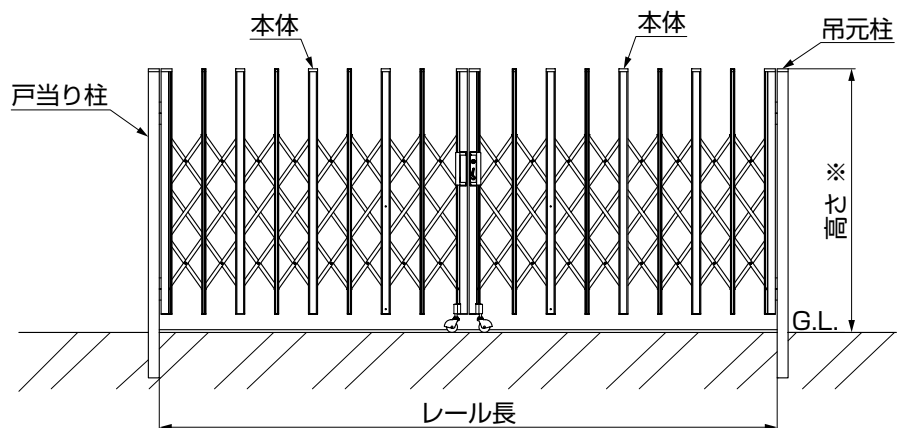


図10-6

ポイント

- サイドレール仕様の場合の柱施工高さは、アルシャイン柱取付説明書D382を参照してください。(※印)

(3) 両開き角地の場合

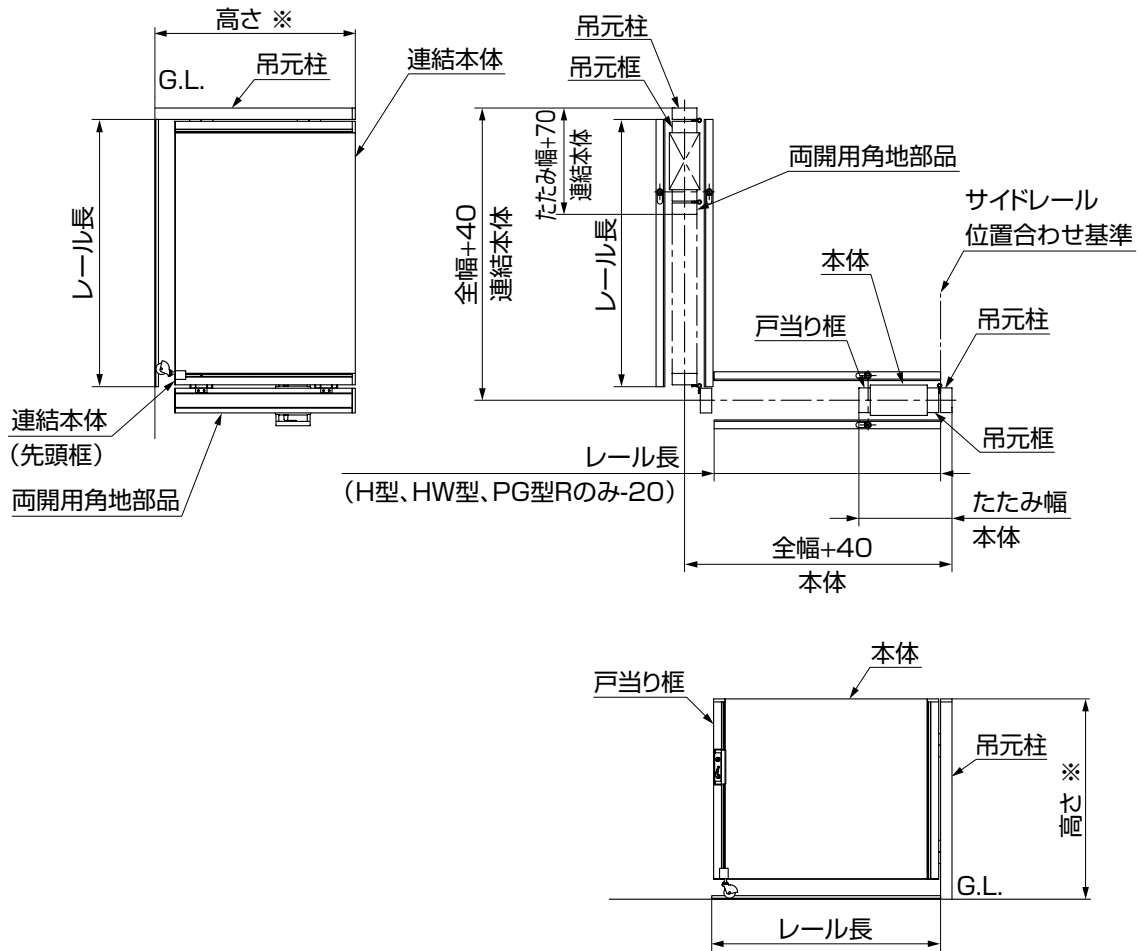


図10-7

ポイント

- レール長は、片開きを参照してください。
- H型、HW型、PG型Rの場合は本体側のサイドレールを20mm短く設定してください。(図10-7参照)
- 吊元柱を基準にサイドレールの設置をしてください。(図10-7参照)
- サイドレール仕様の場合の柱施工高さは、アルシャイン柱取付説明書D382を参照してください。(※印)

10. (つづき)

(4) サイドレールの切断

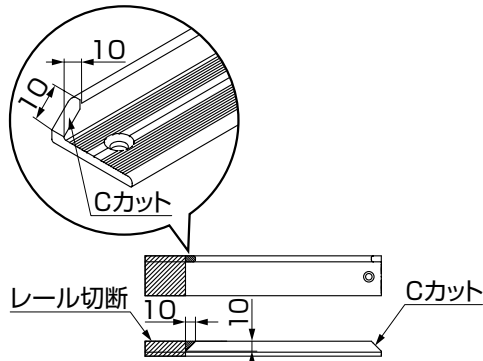


図10-9 レールにつなぎ目が無い場合

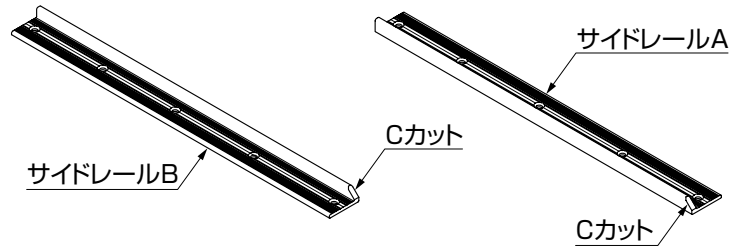


図10-8

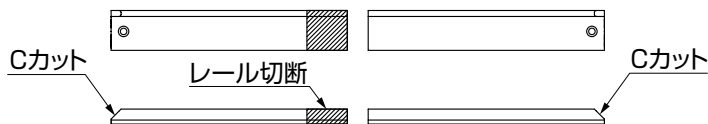


図10-10 レールを2本つなぎにする場合

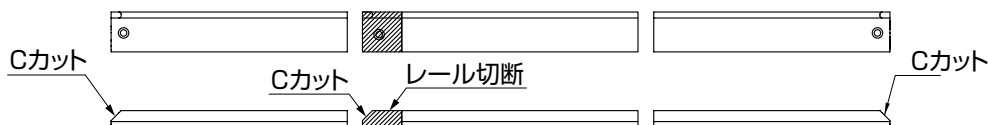


図10-11 レールを3本つなぎにする場合

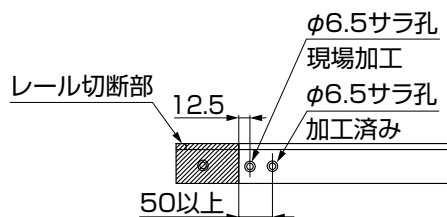


図10-12

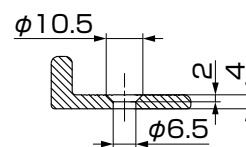


図10-13 φ6.5サラ孔断面図

- ① サイドレールにはCカットを片側のみ加工しています。(図10-8参照)
- ② 切断するサイドレールがどのタイプか図10-9、図10-10、図10-11で選択してください。
- ③ 表10-2、表10-3、表10-4の切断寸法を参考にサイドレールを切断してください。

ポイント

- サイドレールにつなぎ目がない場合、Cカットが無い側を切断し、切断部側に現場でCカットの加工をしてください。(図10-9参照)
- レールを2本つなぎにする場合Cカットが無い側を切断し、Cカットが無い側どうしを合わせてください。(図10-10参照)
- レールを3本つなぎにする場合Cカットが有る側を切断し、そのレールを中央にし、Cカットが両端にくるようにし、3本を合わせてください。(図10-11参照)
- サイドレールはCカットが両端になるようにしてください。(図10-9、図10-10、図10-11参照)

- ④ レール切断部から加工済みの孔まで50mm以上の場合は、図を参照して、孔を追加加工してください。(図10-12、図10-13参照)

(5) サイドレール幅寸法

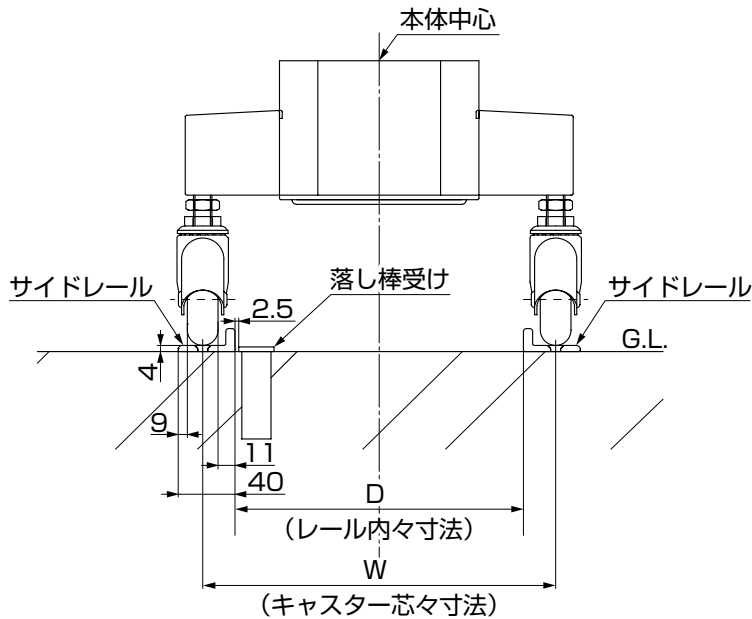


図10-14

表10-1

	W(キャスター芯々寸法)	D(レール内々寸法)
L型、M型、MW型	230	188
H型、HW型、PG型R	260	218

(6) サイドレールの施工

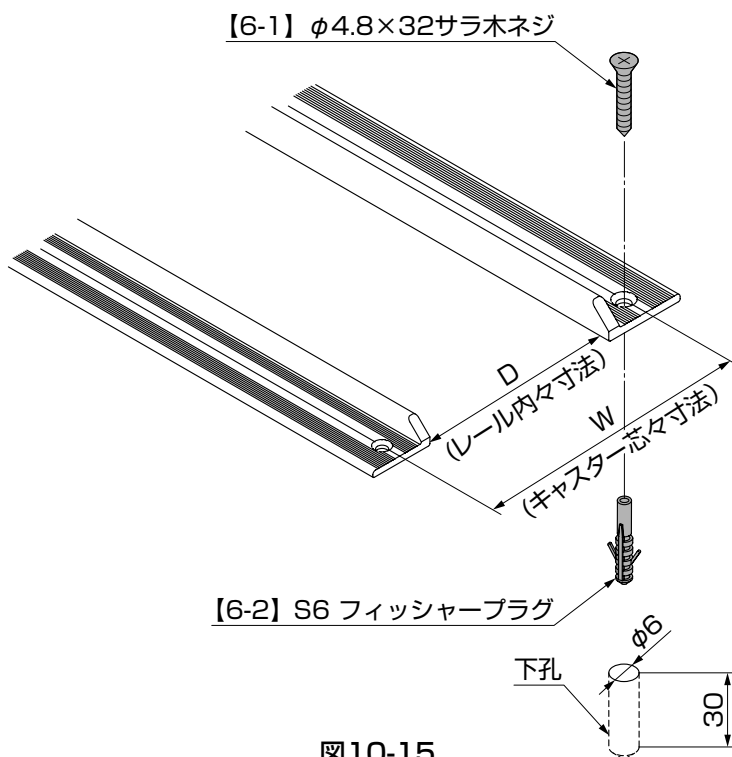


図10-15

①表10-1を参照して、本体中心とレール中心を合わせてください。

②図10-5、図10-6、図10-7を参考にし、レールを施工してください。

⚠ 注意

- サイドレールタイプは回転収納できません。

①図10-15を参照して、サイドレールの孔に合わせて地盤に下孔φ6深さ30以上の孔をあけてください。(図10-15参照)

②【6-2】を圧入し、【6-1】でネジ止めしてください。(図10-15参照)

⚠ 注意

- 安全のためレールを2本つなぎにする場合とレールを3本つなぎにする場合、つなぎ目にズレやすき間ができないように施工してください。

🔑 ポイント

- ネジを締める際、インパクトドライバを使用しないでください。ネジ頭が飛ぶおそれがあります。

③落とし棒受けは本体設置後、本体落とし棒の位置に合わせて地盤に指定の孔加工をしてください。(図10-14参照)

🔑 ポイント

- H型、HW型のみキャスター取付け材スペーサーを取付けてください。

10. (つづき)

10-3 サイドレール施工寸法表

表10-2 L型/H=1250

納まり	呼称	サイドレール組合せ(2本入)					キャスター 列数
		レールサイズ					
		必要 レール長	1525	2025	3025	切断寸法	
片開き	150S	1312	1	—	—	213	1
	210S	1912	—	1	—	113	1
	270S	2512	—	—	1	513	2
	300S	2812	—	—	1	213	2
	330S	3112	1	1	—	438	2
	360S	3412	1	1	—	138	2
	420S	4012	—	2	—	38	3
	480S	4612	—	1	1	438	3
両開き	280W	2618	—	—	1	407	2
	400W	3818	—	2	—	232	2
	520W	5018	—	1	1	32	4
	580W	5618	—	—	2	432	4
	640W	6218	1	1	1	357	4
片開き親子	(150+150)SP	2611	—	—	1	414	2
	(150+270)SP	3811	—	2	—	239	3
	(150+330)SP	4411	1	—	1	139	3
両開き親子	(150+210)WP	3218	1	1	—	332	2
	(150+360)WP	4718	—	1	1	332	3
	(150+420)WP	5318	—	—	2	732	4

補足

- 必要レール長は、「全幅-120」になります。

表10-3 M型/H=1050 H=1250 H=1450、PG型R/H=1250 H=1450
H型/H=1250 H=1450、MW型/H=1450、HW型/H=1450

納まり	呼称 ※1	サイドレール組合せ(2本入)					キャスター列数				
		レールサイズ					PG型R以外			PG型R	
		必要 レール長	1525	2025	3025	切断寸法	H:10	H:12	H:14	H:12	H:14
片開き	150S	1312	1	-	-	213	1	1	1	1	1
	190S	1712	-	1	-	313	1	1	1	1	1
	230S	2112	-	-	1	913	2	2	2	2	2
	270S	2512	-	-	1	513	2	2	2	2	2
	310S	2912	-	-	1	113	2	2	2	2	2
	350S	3312	1	1	-	238	2	2	2	3	3
	390S	3712	-	2	-	338	3	3	3	3	3
	430S	4112	1	-	1	438	3	3	3	3	3
	470S	4512	1	-	1	38	3	3	3	3	3
	510S	4912	-	1	1	138	3	3	4	4	4
	550S	5312	-	-	2	738	4	4	-	4	-
	590S	5712	-	-	2	338	4	4	-	4	-
630S	6112	1	1	1	463	4	5	-	5	-	
両開き	280W	2618	-	-	1	407	2	2	2	2	2
	360W	3418	1	1	-	132	2	2	2	2	2
	440W	4218	1	-	1	332	4	4	4	4	4
	520W	5018	-	1	1	32	4	4	4	4	4
	600W	5818	-	-	2	232	4	4	4	4	4
	680W	6618	-	2	1	457	4	4	4	6	6
	760W	7418	1	-	2	157	6	6	-	6	-
840W	8218	-	-	3	857	6	6	-	6	-	
片開き親子	(150+190)SP	3011	2	-	-	39	2	2	2	2	2
	(150+270)SP	3811	-	2	-	239	3	3	3	3	3
	(150+350)SP	4611	-	1	1	439	3	3	3	4	4
	(150+430)SP	5411	-	-	2	639	4	4	-	4	-
両開き親子	(150+350)WP	4618	-	1	1	432	3	3	3	4	4
	(150+390)WP	5018	-	1	1	32	4	4	4	4	4
	(150+430)WP	5418	-	-	2	632	4	4	4	4	4
	(150+470)WP	5818	-	-	2	232	4	4	4	4	4
	(150+510)WP	6218	1	1	1	357	4	4	5	5	5
	(150+550)WP	6618	-	2	1	457	5	5	-	5	-
	(150+590)WP	7018	-	2	1	57	5	5	-	5	-

※1・・・呼称別の高さ設定詳細は「アルシャイン 柱セット」取付説明書(D382)を確認してください。

補足

- H型、HW型の場合には、キャスタースペーサー必要列数が片開きは1で、両開き、片開き親子、両開き親子は2になります。
- 必要レール長は、「全幅-120」になります。

10. (つづき)

表10-4 MW型/H=1250、HW型/H=1250

納まり	呼称 ※1	サイドレール組合せ(2本入)					キャスター列数	
		レールサイズ					MW型 H=1250	HW型 H=1250
		必要 レール長	1525	2025	3025	切断寸法		
片開き	140S	1222	1	-	-	303	1	1
	180S	1592	-	1	-	433	1	1
	210S	1962	-	1	-	63	2	2
	250S	2332	-	-	1	693	2	2
	290S	2702	-	-	1	323	2	2
	320S	3072	1	1	-	478	2	2
	360S	3442	1	1	-	108	3	3
	400S	3812	-	2	-	238	3	3
	440S	4182	1	-	1	368	3	3
	470S	4550	1	-	1	0	3	3
	510S	4922	-	1	1	128	4	4
	550S	5292	1	2	-	283	4	4
	580S	5662	-	-	2	388	5	5
620S	6032	-	-	2	18	5	6	
両開き	260W	2439	-	-	1	586	2	2
	330W	3179	1	1	-	371	2	2
	410W	3919	-	2	-	131	4	4
	480W	4659	-	1	1	391	4	4
	560W	5399	1	2	-	176	4	4
	630W	6139	1	1	1	436	4	4
	700W	6879	-	2	1	196	6	6
	780W	7619	-	1	2	456	6	6
片開き親子	850W	8359	1	2	1	241	6	6
	(140+180)SP	2802	-	-	1	223	2	2
	(140+250)SP	3542	1	1	-	8	3	3
	(140+320)SP	4282	1	-	1	268	3	3
両開き親子	(140+400)SP	5022	-	1	1	28	4	4
	(140+320)WP	4289	1	-	1	261	3	3
	(140+360)WP	4659	-	1	1	391	4	4
	(140+400)WP	5029	-	1	1	21	4	4
	(140+440)WP	5399	1	2	-	176	4	4
	(140+470)WP	5769	-	-	2	281	4	4
	(140+510)WP	6139	1	1	1	436	5	5
	(140+550)WP	6509	1	1	1	66	5	5
(140+580)WP	6879	-	2	1	196	6	6	

※1・・・呼称別の高さ設定詳細は「アルシャイン 柱セット」取付説明書(D382)を確認してください。

補足

- H型、HW型の場合には、キャスタースペーサー必要列数が片開きは1で、両開き、片開き親子、両開き親子は2になります。
- 必要レール長は、「全幅-120」になります。

11. センターレールの場合

11-1 センターレール施工寸法図

(1) 片開きの場合

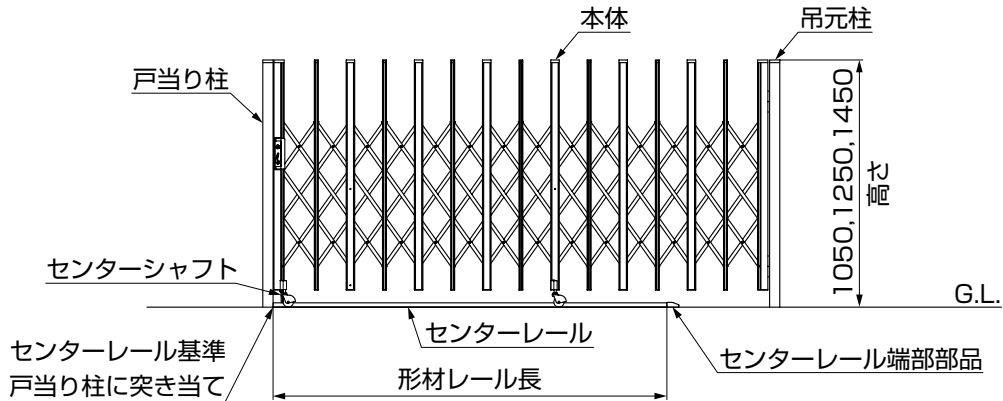


図11-1

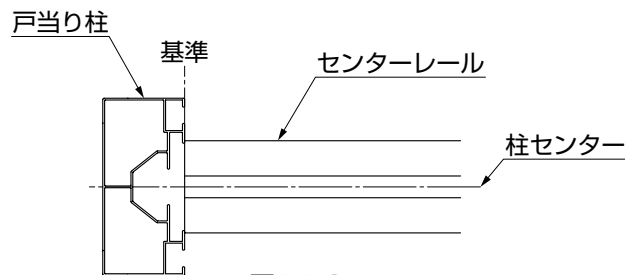


図11-2

①片開き仕様の場合は、戸当り柱を基準にして、柱センターに「センターレール」設置してください。(図11-2参照)

(2) 両開きの場合

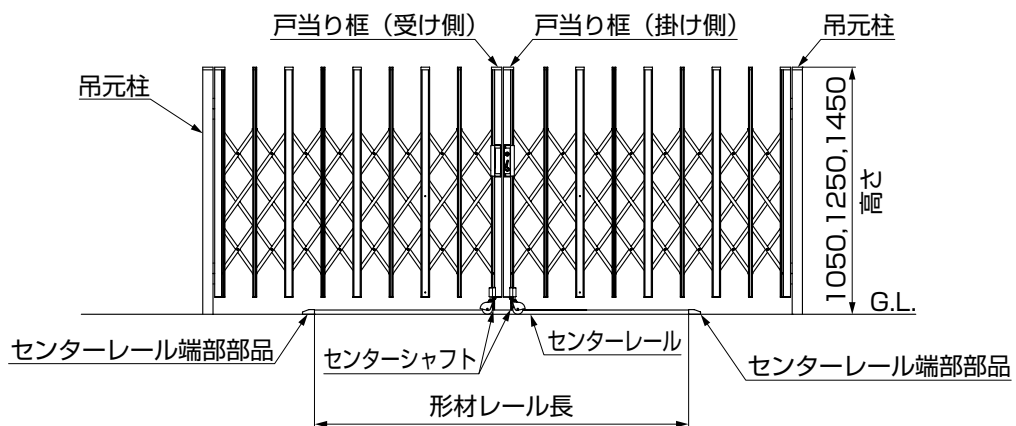


図11-3

①両開き仕様の場合は、「戸当り框 (掛け側)」と「戸当り框 (受け側)」の合わせ目が、センターレールの中心になるように施工してください。(図11-3参照)

11. (つづき)

(3) 両開き角地の場合

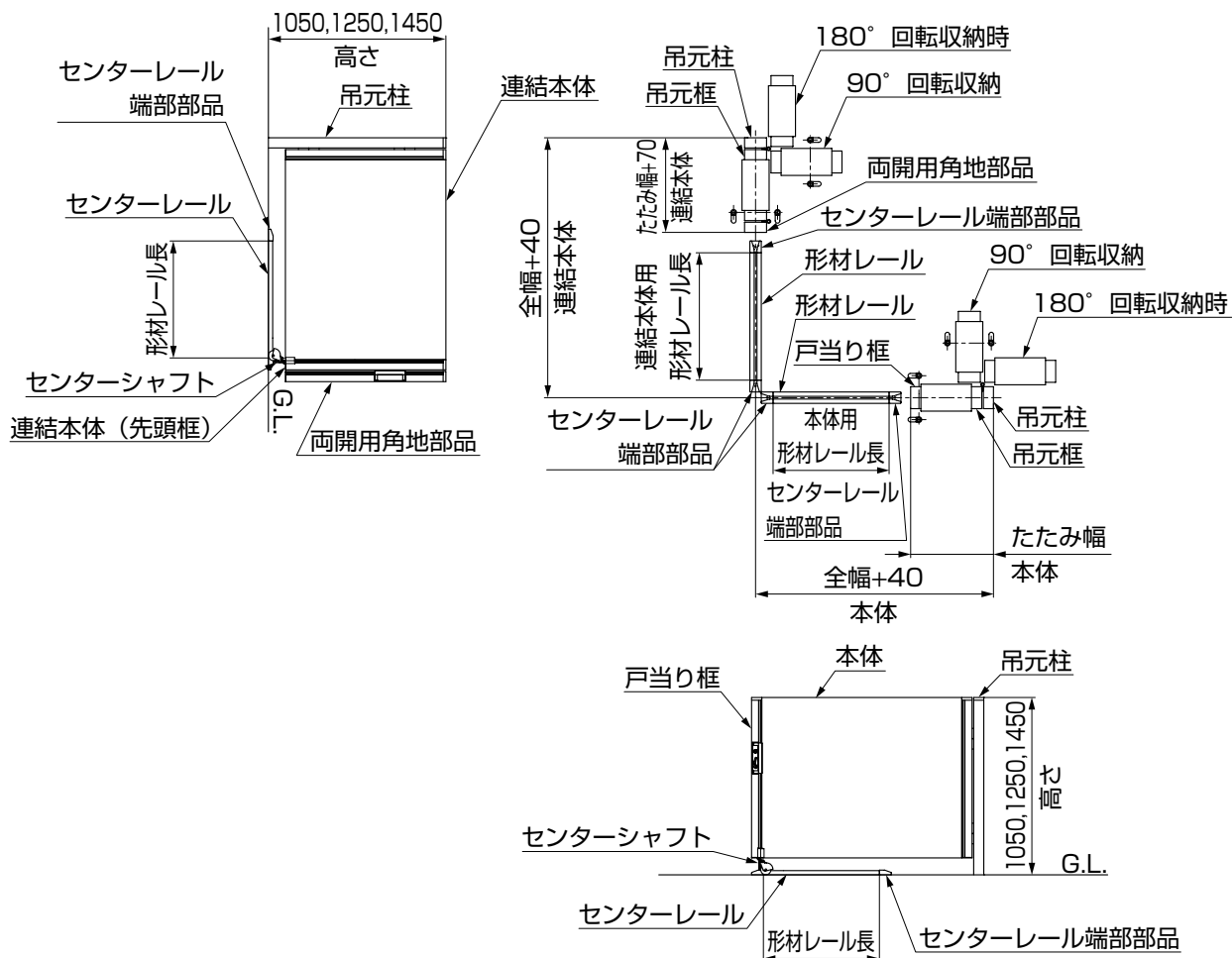


図11-4

- ①センターレールの長さを必要長さにカットしてください。(表11-2、表11-3、表11-4、表11-5参照)
- ②伸縮門扉を、施錠した状態での交差部を基準に、センターレールを設置してください。

11-2 センターレール施工図

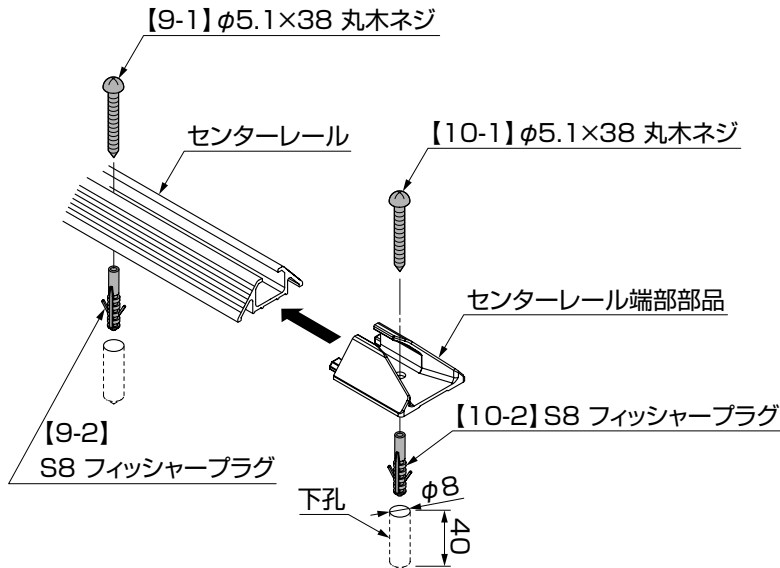


図11-5

- ①センターレールの位置を決め、センターレールの孔に合わせて地盤に下孔φ8 深さ40mm以上の孔をあけてください。(図11-5参照)
- ②【9-2】を圧入し、【9-1】でネジ止めしてください。(図11-5参照)
- ③センターレール端部部品をセンターレールに図のように差込み、センターレール端部部品の孔に合わせて地盤に下孔φ8 深さ40mm以上の孔をあけてください。(図11-5参照)
- ④【10-2】を圧入した後、【10-1】でネジ止めしてください。(図11-5参照)
- ⑤レール切断部から加工済みの孔まで50mm以上の場合、図を参照して、孔を追加加工をしてください。(図11-6参照)

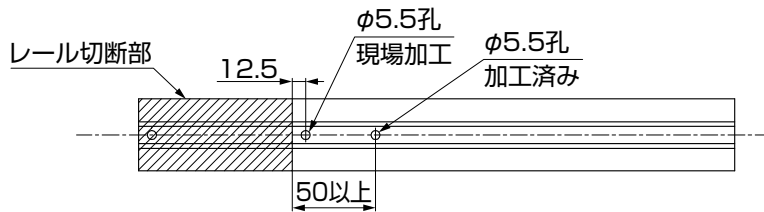


図11-6

11-3 L型、M型、H型、MW型、HW型の場合 センターシャフトの組付け

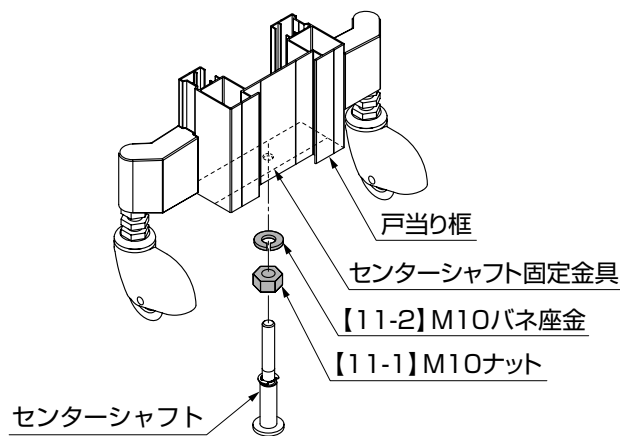


図11-7

- ①戸当り框部の下の「センターシャフト固定金具」に、【11-1】および【11-2】を組付けたセンターシャフトを仮組みしてください。(図11-7参照)

ポイント

- 仮組みする際、センターシャフトの先端の高さが、キャスターの高さよりも低くなる位置までネジ込んでおくと、センターシャフトが地面等に引っかからず、後の作業が楽になります。
- センターレール仕様の場合、センターシャフトの取付けは本体および連結本体の先頭の框の下のみの設定になります。

11. (つづき)

11-4 PG型Rの場合 センターシャフトおよび裏板の組付け

ポイント

- 裏板およびPG用センターシャフトの組付けは、本体梱包内で、横にした状態で組付けていただくと取付が容易です。本体を立てた後では、本体を持上げた状態で取付ける必要があります。

(1) PG型R Aタイプへの裏板の組付け

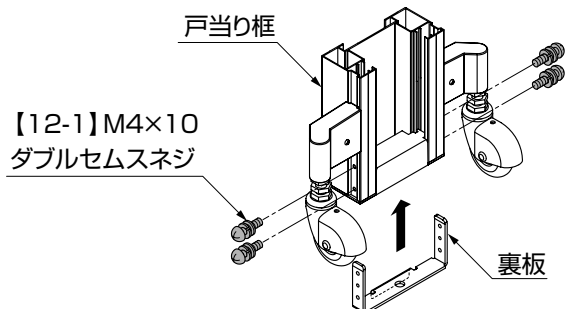


図11-8

- ①裏板を戸当り框に【12-1】で組付けてください。(図11-8参照)

補足

- PG型RのAタイプとCタイプは、裏板の組付け手順が違います。

(2) PG型R Cタイプへの裏板の組付け

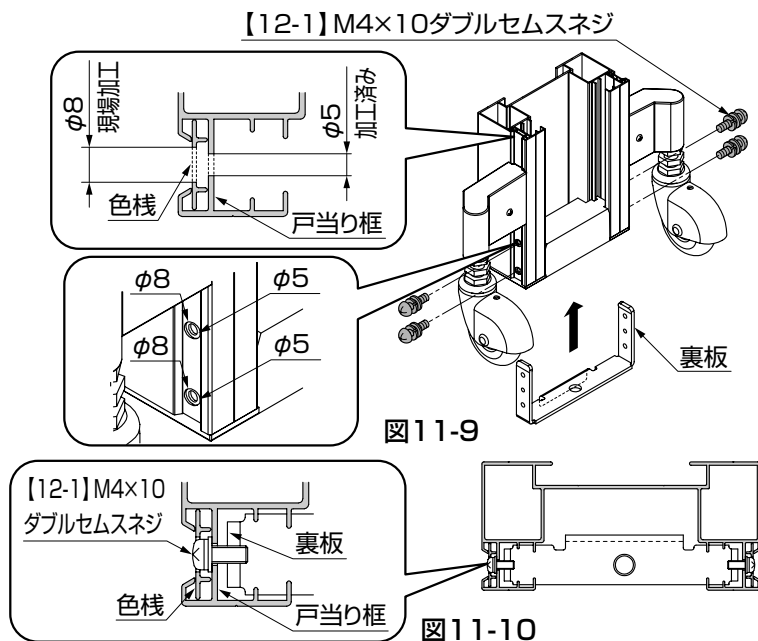


図11-9

図11-10

- ①色棧にのみφ8孔をあけてください。色棧にはφ5の下孔があいています。(図11-9参照)

ポイント

- 戸当り框には、φ8孔をあけないでください。(図11-9、図11-10参照)

補足

- 色棧にφ8孔をあける際、ドリルでキャスターをきずつけないように、注意してください。

- ②裏板を戸当り框に【12-1】で組付けてください。(図11-9、図11-10参照)

(3) PG型R センターシャフトの組付け

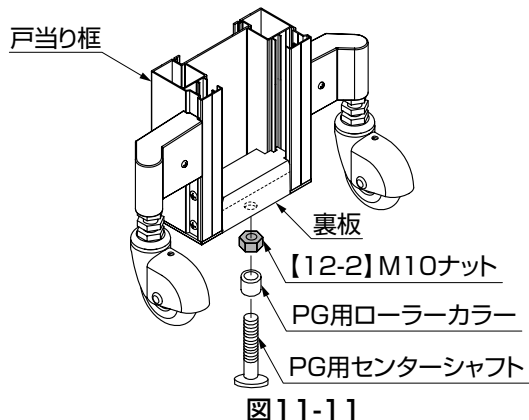


図11-11

- ①PG用ローラーカラーと【12-2】を組付けたPG用センターシャフトを裏板に仮組みしてください。(図11-11参照)

ポイント

- 仮組みする際、PG用センターシャフトの先端の高さが、キャスターの高さよりも低くなる位置までネジ込んでおくと、センターシャフトが地面等に引っかからず、後の作業が楽になります。
- センターレール仕様の場合、PG用センターシャフトの取付けは本体および連結本体の先頭の框の下のみの設定になります。

11-5 センターレールへの組付けおよび調整

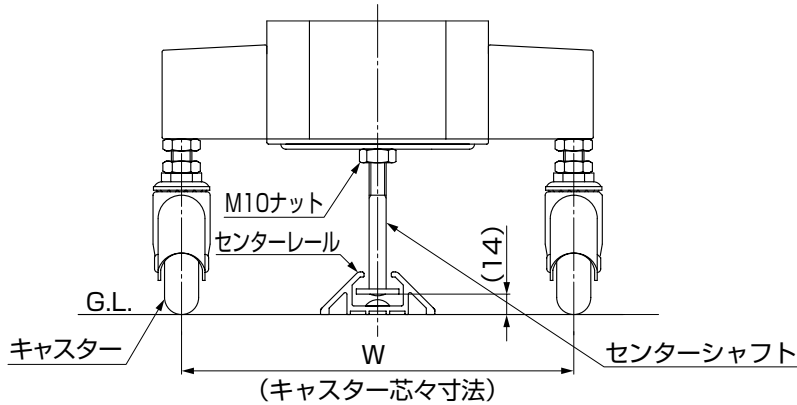


図11-11

①本体がスムーズに作動するように、「センターシャフト」の高さを調節し、「M10ナット」で固定してください。

表11-1

	W (キャスター芯々寸法)
L型、M型、MW型	230
H型、HW型、PG型R	260

11-6 センターレール施工寸法表

表11-2 L型/H=1250

納まり	呼称	センターレール組合せ					センターレール 端部部品必要数	センター シャフト必要数
		必要形材 レール長※1	1525	2025	3025	切断寸法		
片開き	150S	893	1	—	—	632	1	1
	210S	1447	1	—	—	78	1	1
	270S	2025	—	1	—	0	1	1
	300S	2278	—	—	1	747	1	1
	330S	2555	—	—	1	470	1	1
	360S	2832	—	—	1	193	1	1
	420S	3386	1	1	—	164	1	1
	480S	3940	—	2	—	110	1	1
両開き	280W	1780	—	1	—	245	2	2
	400W	2888	—	—	1	37	2	2
	520W	3996	—	2	—	54	2	2
	580W	4550	1	—	1	0	2	2
	640W	5050	—	1	1	0	2	2
片開き親子	(150+150)SP	2025	—	1	—	0	1	1
	(150+270)SP	3108	1	1	—	442	1	1
	(150+330)SP	3662	—	2	—	388	1	1
両開き親子	(150+220)WP	2334	—	—	1	691	2	2
	(150+360)WP	3719	—	2	—	331	2	2
	(150+420)WP	4273	1	—	1	277	2	2
両開き角地	両開き角地の場合を参照						4	2

※1・・・形材端部部品は含みません。

補足

●必要形材レール長は、片開きは「全幅-たたみ幅-242」～「全幅-たたみ幅-297」の範囲、両開きは「全幅-たたみ幅-388」～「全幅-たたみ幅-498」の範囲になります。

11. (つづき)

表11-3 M型/H=1050 H=1250 H=1450、PG型R/H=1250 H=1450、MW型/H1450

納まり	呼称 ※1	センターレール組合せ					センターレール 端部部品必要数	センター シャフト必要数
		必要形材 レール長 ※2	1525	2025	3025	切断寸法		
片開き	150S	847	1	—	—	678	1	1
	190S	1201	1	—	—	324	1	1
	230S	1555	—	1	—	470	1	1
	270S	1909	—	1	—	116	1	1
	310S	2263	—	—	1	762	1	1
	350S	2617	—	—	1	408	1	1
	390S	2917	—	—	1	54	1	1
	430S	3325	1	1	—	225	1	1
	470S	3679	—	2	—	371	1	1
	510S	4050	—	2	—	0	1	1
	550S	4387	1	—	1	163	1	1
	590S	4741	—	1	1	309	1	1
両開き	630S	5075	2	1	—	0	1	1
	280W	1688	—	1	—	337	2	2
	360W	2396	—	—	1	629	2	2
	440W	3050	2	—	—	0	2	2
	520W	3812	—	2	—	238	2	2
	600W	4550	1	—	1	0	2	2
	680W	5228	1	2	—	347	2	2
	760W	5936	2	—	1	139	2	2
片開き親子	840W	6644	—	2	1	431	2	2
	(150+190)SP	2262	—	—	1	763	1	1
	(150+270)SP	2970	—	—	1	55	1	1
	(150+350)SP	3678	—	2	—	372	1	1
両開き親子	(150+430)SP	4386	1	—	1	164	1	1
	(150+350)WP	3481	1	1	—	92	2	2
	(150+390)WP	3812	—	2	—	238	2	2
	(150+430)WP	4166	1	—	1	384	2	2
	(150+470)WP	4550	1	—	1	0	2	2
	(150+510)WP	4874	—	1	1	176	2	2
	(150+550)WP	5228	1	2	—	347	2	2
	(150+590)WP	5575	1	2	—	0	2	2
両開き角地	両開き角地の場合を参照						4	2

※1…呼称別の高さ設定詳細は「アルシャイン 柱セット」取付説明書(D382)を確認してください。

※2…形材端部部品は含みません。

補足

- 必要形材レール長は、片開きは「全幅-たたみ幅-242」～「全幅-たたみ幅-297」の範囲、両開きは「全幅-たたみ幅-388」～「全幅-たたみ幅-498」の範囲になります。

表11-4 MW型/H=1250、HW型/H=1250

納まり	呼称	センターレール組合せ							センターレール 端部部品必要数	センター シャフト必要数
		必要材レール長 ※1		1525	2025	3025	切断寸法			
		MW型 H=1250	HW型 H=1250				MW型 H=1250	HW型 H=1250		
片開き	140S	756	752	1	-	-	769	773	1	1
	180S	1080	1072	1	-	-	445	453	1	1
	210S	1404	1392	1	-	-	121	133	1	1
	250S	1728	1712	-	1	-	297	313	1	1
	290S	2025	2025	-	1	-	0	0	1	1
	320S	2376	2352	-	-	1	649	673	1	1
	360S	2700	2672	-	-	1	325	353	1	1
	400S	3024	2992	1	1	-	526	558	1	1
	440S	3348	3312	1	1	-	202	238	1	1
	470S	3672	3632	-	2	-	378	418	1	1
	510S	3996	3952	-	2	-	54	98	1	1
	550S	4320	4272	1	-	1	230	278	1	1
580S	4644	4592	-	1	1	406	458	1	1	
620S	4968	4912	-	1	1	82	138	1	1	
両開き	260W	1508	1500	-	1	-	517	525	2	2
	330W	2156	2140	-	-	1	869	885	2	2
	410W	2804	2780	-	-	1	221	245	2	2
	480W	3452	3420	1	1	-	98	130	2	2
	560W	4100	4060	1	-	1	450	490	2	2
	630W	4748	4700	-	1	1	302	350	2	2
	700W	5396	5340	-	-	2	654	710	2	2
	780W	6044	5980	1	1	1	531	595	2	2
850W	6692	6620	1	-	2	883	955	2	2	
片開き親子	(140+180)SP	2025	2025	-	1	-	0	0	1	1
	(140+250)SP	2700	2680	-	-	1	325	345	1	1
	(140+320)SP	3348	3320	1	1	-	202	230	1	1
	(140+400)SP	3996	3960	-	2	-	54	90	1	1
両開き親子	(140+320)WP	3128	3100	1	1	-	422	450	2	2
	(140+360)WP	3452	3420	-	2	-	598	630	2	2
	(140+400)WP	3776	3740	-	2	-	274	310	2	2
	(140+440)WP	4100	4060	1	-	1	450	490	2	2
	(140+470)WP	4424	4380	-	1	1	626	670	2	2
	(140+510)WP	4748	4700	-	1	1	302	350	2	2
	(140+550)WP	5072	5020	1	2	-	503	555	2	2
(140+580)WP	5396	5340	-	-	2	654	710	2	2	
両開き角地	両開き角地の場合を参照								4	2

※1・・・形材端部部品は含みません。

補足

●必要材レール長は、片開きは「全幅-たたみ幅-242」～「全幅-たたみ幅-297」の範囲、両開きは「全幅-たたみ幅-388」～「全幅-たたみ幅-498」の範囲になります。

11. (つづき)

表11-5 H型/H=1250 H=1450、HW型/1450

納まり	呼称 ※1	センターレール組合せ				センターレール 端部部品必要数	センター シャフト必要数	
		必要形材 レール長 ※2	1525	2025	3025			切断寸法
片開き	150S	843	1	—	—	682	1	1
	190S	1193	1	—	—	332	1	1
	230S	1543	—	1	—	482	1	1
	270S	1893	—	1	—	132	1	1
	310S	2243	—	—	1	782	1	1
	350S	2593	—	—	1	432	1	1
	390S	2943	—	—	1	82	1	1
	430S	3293	1	1	—	257	1	1
	470S	3643	—	2	—	407	1	1
	510S	3993	—	2	—	57	1	1
	550S	4343	1	—	1	207	1	1
	590S	4693	—	1	1	357	1	1
630S	5043	2	1	—	32	1	1	
両開き	280W	1680	—	1	—	345	2	2
	360W	2380	—	—	1	645	2	2
	440W	3050	2	—	—	0	2	2
	520W	3780	—	2	—	270	2	2
	600W	4480	1	—	1	70	2	2
	680W	5180	1	2	—	395	2	2
	760W	5880	2	—	1	195	2	2
840W	6580	—	2	1	495	2	2	
片開き親子	(150+190)SP	2250	—	—	1	775	1	1
	(150+270)SP	2950	—	—	1	75	1	1
	(150+350)SP	3650	—	2	—	400	1	1
	(150+430)SP	4350	1	—	1	200	1	1
両開き親子	(150+350)WP	3430	1	1	—	120	2	2
	(150+390)WP	3780	—	2	—	270	2	2
	(150+430)WP	4130	1	—	1	420	2	2
	(150+470)WP	4480	1	—	1	70	2	2
	(150+510)WP	4830	—	1	1	220	2	2
	(150+550)WP	5180	1	2	—	395	2	2
	(150+590)WP	5575	1	2	—	0	2	2
両開き角地	両開き角地の場合を参照						4	2

※1…呼称別の高さ設定詳細は「アルシャイン 柱セット」取付説明書(D382)を確認してください。

※2…形材端部部品は含みません。

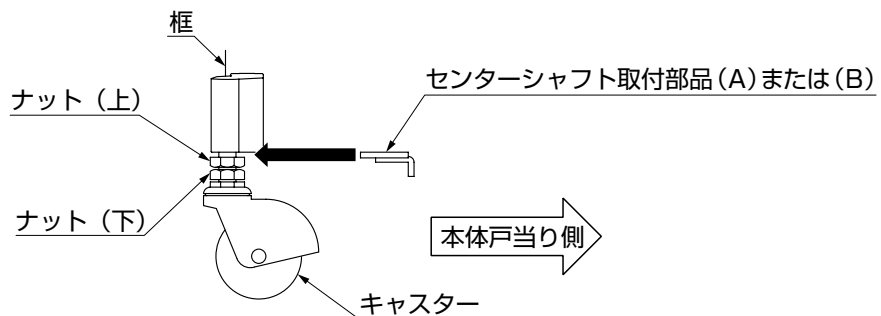
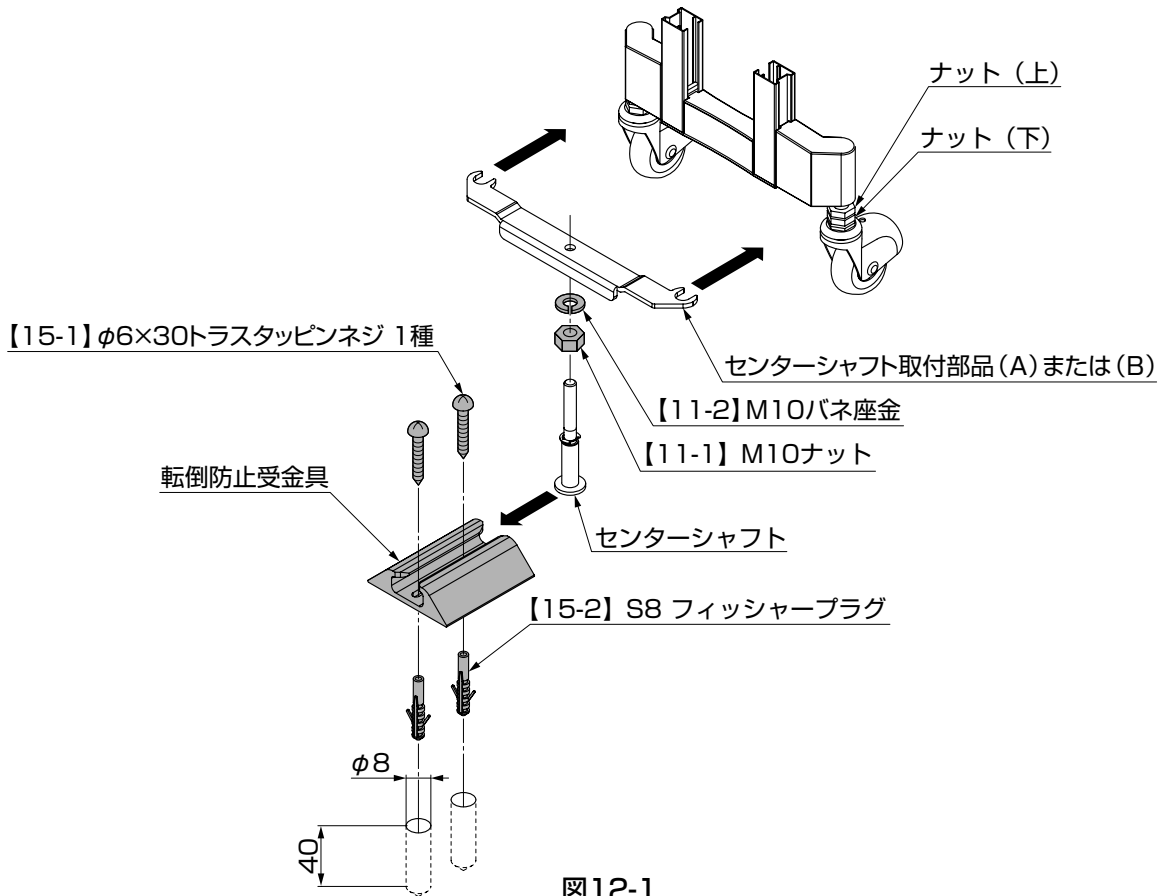
補足

- 必要形材レール長は、片開きは「全幅-たたみ幅-242」～「全幅-たたみ幅-297」の範囲、両開きは「全幅-たたみ幅-388」～「全幅-たたみ幅-498」の範囲になります。

12. 転倒防止受金具の取付け **オプション**

※センターレールタイプに併用することはできません。

12-1 L型、M型、H型、MW型、HW型の場合 転倒防止受金具の施工



- ①キャスター両側「ナット (上)」を下に下げてください。(図12-1参照)
- ②「センターシャフト取付部品 (A) または (B)」を「ナット (上)」の上側に挿入して、「センターシャフト取付部品」を固定してください。(図12-2参照)
- ③【11-1】および【11-2】を組付けた「センターシャフト」を、高さを調節して「センターシャフト取付部品」に固定してください。(図12-1参照)
- ④本体に取付けた「センターシャフト」の位置に合わせて、「転倒防止受金具」を施工してください。
- ⑤転倒防止受金具の長孔センター位置の地盤に、φ8深さ40以上の下孔をあけてください。(図12-1参照)
- ⑥【15-2】を圧入して、【15-1】で転倒防止受金具を固定してください。(図12-1参照)

ポイント

- 戸当り框に転倒防止受け金具を施工する場合は、「11-3 センターシャフト組付け」を参照ください。

12. (つづき)

12-2 PG型Rの場合 転倒防止受金具の施工

ポイント

- 裏板およびPG用センターシャフトの組付けは、本体梱包内で、横にした状態で組付けていただくと取付が容易です。本体を立てた後では、本体を持上げた状態で取付ける必要があります。
- 戸当り框に転倒防止受け金具を施工する場合は、「11-4 センターシャフトおよび裏板の組付け」を参照ください。

(1) PG型R Aタイプへの裏板の組付け

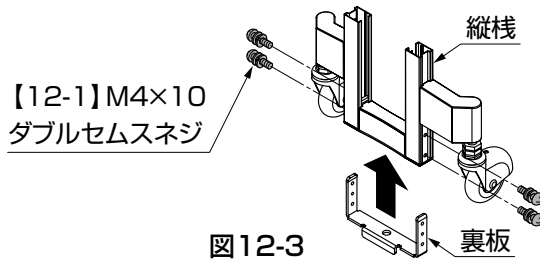


図12-3

- ①裏板を縦棧に【12-1】で組付けてください。(図12-3参照)

補足

- PG型RのAタイプとCタイプは、裏板の組付け手順が違います。

(2) PG型R Cタイプへの裏板の組付け

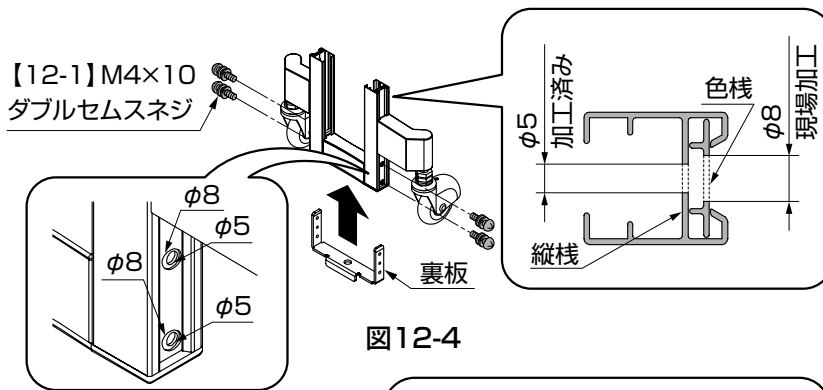


図12-4

- ①色棧にのみφ8孔をあけてください。色棧にはφ5の下孔があいています。(図12-4参照)

ポイント

- 縦棧には、φ8孔をあけないでください。(図12-4、図12-5参照)

補足

- 色棧にφ8孔をあける際、ドリルでキャスターをきずつけないように、注意してください。

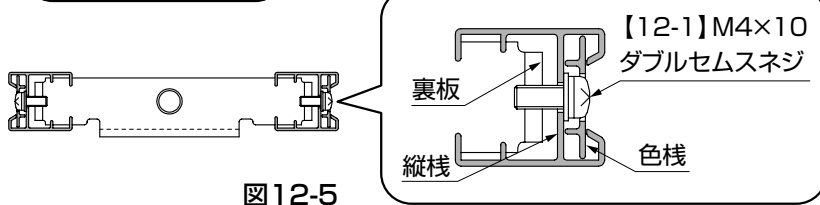


図12-5

- ②裏板を縦棧に【12-1】で組付けてください。(図12-4、図12-5参照)

(3) PG型R センターシャフトの組付けおよび転倒防止受金具の施工

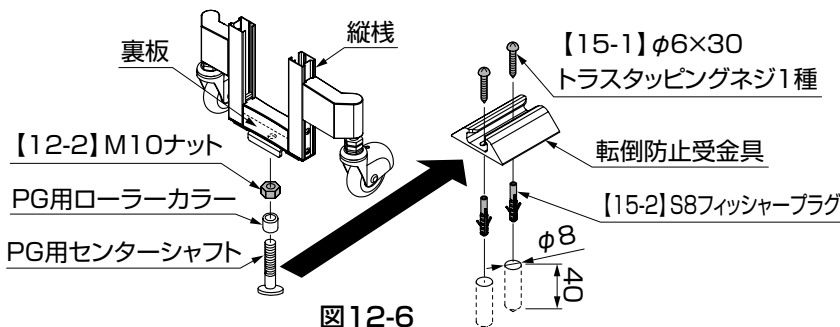


図12-6

- ①PG用ローラーカラーと【12-2】を組付けたPG用センターシャフトを、高さを調節して裏板に固定してください。(図12-6参照)
- ②本体に取付けたPG用センターシャフトの位置に合わせて、転倒防止受金具を図を参照して固定してください。(図12-6参照)

取説コード

D383

JZ2610080C
200602A_1006
200812D_1006